

旅がはてしない

作・広田淳一 2005年5月20日

出演

| | |
|------|---------------------|
| カサ | …記憶喪失の男。 |
| チー | …あんまり喋らない女。 |
| ジエット | …チーの友だち。 |
| パイプ | …パイプを吸っている男。 |
| ハッチ | …ミネストローネにいる若い女。 |
| ヤブ | …無免許の医者 |
| メニコン | …ヤブの助手。 |
| ゴーグル | …ミネストローネにいる若い男。 |
| 産毛 | …ミネストローネのとあるリーダー代行。 |
| ケッタ | …ミネストローネの若きエース。 |
| キュー | …よく憶えている女。 |
| ヒカリ | …貧しい若い女。 |
| 甘栗 | …自称・占い師。 |
| ガクシヤ | …路上で研究を続ける男。 |
| お役所 | …役人。 |

【前提】

舞台を取り囲むように客席がある。

特に装置はない。10センチ未満の段差。舞台後方にガードレール。天上から吊りモノ。

音楽がかかっている。

音楽が大きくなっていくって照明変化。

開演の雰囲気を観客が感じとれるように。

開演の少し前にチーが入ってきている。

【プロローグ】

真夜中の…迷路で雨宿り

染め明り。その中を傘を差してカサ登場。歩いている。

彼には連続した記憶がほとんどない。肉体的な連続性もない。

今の身体に入ったのもついこの間だ。

ただ、この場面において「新しい環境」になっているのは彼自身の身体ではなく、移動した「ミネストローネ」の方だ。

懐かしい、という感慨を無意識下に感じつつ、見覚えのない場所に彼は迷い込んでいる。何も思い出せない、という状態をいくぐり前のもものとして捉えている。彼は記憶や場所がリセットされてしまう感覚に随分前から慣れている。

カサ　どこだ今度は？

台詞の後、f.i.eで雨音。

チーが雨宿りをしている。壁沿いに立って目線は雨降る道。

カサ、チーの傍に足早に歩く。チーは今まで自分の居た場所をカサに譲る。

カサはいくぐり前のようにチーの横に腰を降ろす。

チーが今まで居た場所より少しだけ外だから傘はたたまない。

カサ

雨降っているんですけど思いつくすんだけどさ……銀河鉄道999。哲郎がさ、あのちっさいガンマンみたいなヤツいたじゃん？ あいつが言ってただけど、雨が好きなんつうのは金持ちの言いつつだったって。一回でも道で導いたことあったら雨が好きなんて言える

わけないからって。そうなんだよな。アハハハ。うん、すげえわかるんだよ。

チーは基本的には喋らない。「喋れない」のではなご。

カサ 知りあいだよな？

チー (イエス)

カサ だよな。好きな雨？

チー (ノー)

カサ 嫌だよな。て、なんかしゃべってよ。そんな。

間。

カサ ごめん名前、なんだっけ？

チー (?)

カサ 喋れないんだっけごめん。……て謝る事もないか。ま、いいんだよな、そんなことは。

チー ……チー。

カサ チー、ね。喋れんじゃん。

チー (イエス)

カサ よくいるんだごの辺？

チー (イエス)

カサ また会ったらよろしく。

カサ、手を差し出す。チー、それに答えて握手する。

カサ じゃ俺の名前はなごでしよう？

チー (?)

カサ ひどいな忘れちゃった？

チー ……。

チー、カサを指さす。

カサ なに？ 何も出ないよそんなごに押ししても。アなに、カサ？

チー (イエス)

カサ カサ、カサか俺。じゃ思い出すまではカサね。……絶対思い出してよ約束ね。

チー (イエス)

カサ んで思い出したら俺にも教えてよ。

チー (イエス)

カサ 番号知ってたっけ？

カサ、携帯を取り出してくる。

チー (ノー)

カサ じゃ、ホラ、入れといてよ。

とって携帯をチーに渡す。チーも携帯を取り出す。するん、

カサ あー、ちよつと見せて。「これ」ピチヨン「君じゃん。すげえ可愛い。じゃ、ピチヨンね。

チー・ピチヨン。これフルネーム。

チー チー・ピチヨン？

カサ そうそう。わかった？

チー (うんうん携帯返す。)

カサ ……ね本当は雨好きでしょ？

チー (え、嫌いだよ)

カサ だってずっと見てんじゃない。

チー (んー……)

カサ ……実は、結構好きなんだよね。雨。……困るけどね。寒いし濡れるし。……濡れるしね

チー エ。好きなんでしょ？

チー …… (イエス)

カサ じゃ、そう言えよ「ノヤロウ」(笑う)

チー、笑う。

カサ なに笑ってたよ。

チー (笑ってませむ)

カサ あ、そう、違うの。笑ってんじゃないんだ。

チー (うん)

カサ じゃあ……泣いてるの？

チー (そうそう。泣き真似)

カサ 笑ってんじゃない。

チー、笑う。カサ、立ち上がる。

カサ 泣いてるのか。そういつ時せめぬめな。

そこへ傘を差したパイプが駆け込んできた。パイプ、パイプを取り出して、

パイプ 火貸してくんない？
カサ おお……？

パイプ、カサの顔を見て驚く。

パイプ よオ。

カサ お。

パイプ びっくりしたア……。おまえもココ来てたんだ。

カサ うん、ま、来たばかりでよくわかんないんだけど、え……つか、ごめん誰？

パイプ えっ？

カサ いや、ごめん、よくわかんなくなっちゃって……知り合いなんだよね？

カサだけ笑う。パイプは笑わない。

パイプ、カサの腕にあるインプラントを確認する。

パイプ なんだよ人違いかと思ったじゃねえか。お前も消したほっがいいよ。ほら。

と、言って腕の同じ場所を見せる。パイプの腕には何も無い。

パイプ 消さないと消されるぞ。……お前がな。なんつって。

カサ おつ。そう、消したほっがいいんだ。なにこれ？

パイプ インプラント。

カサ インプラント？

パイプ いろいろ大事なもん入ってたからなくすなよ。俺は取られないように（頭を指して）移植したからさ。

カサ ああ！……あれね。あれかア。ははは。誰これ？

チー （知らない）

パイプ （笑いすぎて咳き込む）

カサ 大丈夫？ いや、本当にね、思い出せないんだわ。つか、だいたいのことは忘れてる。

パイプ そっか、忘れるのが仕事だったもんな。

カサ え？

パイプ 「忘却と再生」。

カサ 何？

パイプ そんじゃ行くわ。

カサ ああ。え？ あ、ごめん……。……悪いことしたな。

パイプ立ち上がって去る。少し離れた所から、

パイプ 元気でな。
カサ お前もな。
パイプ ……そりゃ無理だ。
カサ え？
パイプ もうすべし元気じゃなくなるから。
ケッタ いたぞー！ やっちまえおらァー！

音楽 in。

人がゾロゾロと勢い込んで入ってくる。

真夜中の…共犯者

キュー まず始まるのが一番最初に死んじゃうやつの話。正確に言えば死んじゃうはずのやつ。
ケッタ え？
キュー 今日は生き残るかもしんないから。
ケッタ 元気じゃなくなるっていつてた彼ね。
キュー そ、彼の話。彼はちよつと前まではサラリーマンだったんだけど、3ヶ月くらい前に株にハマってからあんまり会社にいかないようになって、1ヶ月前くらい前に一日の取引で1000万円、今のお金に換算すれば、
ケッタ 一億秒、
キュー つまり？

ケッタ 3年と2ヵ月、9時間16分4秒
キュー ぐらい儲かったんだって。で、結局イスに坐ったまんまで3ヶ月で30億秒も稼いだってわけ。簡単に説明しておくけど30億秒ってのは3億円ってことね。
ケッタ 1日が86400秒。
キュー ゼロ1個とついで86400円。
ケッタ 大体日給ってそんなもんだな。
キュー そう、こじこじじゃ命の単位がお金の単位になってんの。
ケッタ 30億秒？ やつてらんねえなめ、そいつの話聞くと。
キュー うらやましいぞ？
ケッタ そりゃね。でも、人生狂っちゃうよね。
キュー ま、元々狂ってるんだけどね。
ケッタ そうなの？

サラリーマンになる前の話もいろいろあるんだけどそれはまた後で。
ケッタ 勿体つけるね。

キュー ま、ゆっくりね。で、仕事なんか当然やめちゃって、よせばいいのにお薬なんかに凝りだしちゃって今じゃ片時もパイプを放せないってわけ

ケッタ 名前ななしつのにじつしっ？
 キュー どうしてもよくなえ？
 ケッタ いやいやいけど、不便じゃんなんか。
 キュー 人に尋ねる前に名を名乗れ。
 ケッタ ですか。
 キュー どうぞよろしくケッタ君。
 ケッタ よろしくね。
 キュー じゃ、仮にパイプ、って呼ぶにじつにじつかな。
 ケッタ パイプ。なんど？
 キュー パイプ吸ってるから。
 ケッタ わかりやしー。あんたの名前は？
 キュー あたしキュー。
 ケッタ キュー、なんど？
 キュー クエスチョンのキュー。
 ケッタ なんだよそれ。
 キュー パイプはそれから、出会う系だのお見合ひパイプだの賣しつじつを辿って「あの道」にたどり着くために時間を費やした。
 ケッタ ミネストローネ。
 キュー そう「あの道」は、パイプで見つけたハッチってやつに案内してもらって、よめやへそこを辿りついで。
 ケッタ おめでどうし、だけど、
 キュー 数時間後にはしょうもない連中に体中引っこ抜かれてバラバラにされちゃう。
 ケッタ ま、しょうもないな。俺も含めて。
 キュー 1章のタイトルはちょっと長めで「餌を取り合ってバタつく鳥達はダンスを踊っているやつ」も見えん」。

挿、SE。

【1】 餌を取り合っつてバタバタして帰るのはダンスを踊っつておもしろいと思え

№ 1 舞臺の騒動

道案内

道案内：「ふむちり食入放題」

ハッチ、パイプ、登場。

パイプ 君は、よへ行くのももつひ、

ハッチ ちっ？

パイプ なんだあの、ふむちり食入放題っつ？

ハッチ 行かないよ。なななっ？

パイプ や、慣れた感じだったから。

ハッチ 嘘、初めただよ。

パイプ そつななだ。

ハッチ でもすげえつまかつたあ

パイプ あねへらららっけねほらっせ。

ハッチ 嘘？ かなり豪華だったじゃんだった。うさのっ？

パイプ いらよ。

ハッチ やった……。

パイプ 代わりにあのさ、ちよっつあめの、こつちもななっつつか、交遊っつつか、うーん、まあちよっつ頼みっつ、頼みっつあねだせ……

ハッチ なにっ？

パイプ あの、道、なんだけびね、その、そつてる人をのつけたまんま移動しちゃう、って道があるらしいんだけど、知っつねっ？

ハッチ 「ミネストローネ」のじよっ？

パイプ あ、そつ。知っつねっ？ え、そねは、ちよっつあめのっ？

ハッチ 音楽かかっつね。

パイプ 他にっ？

ハッチ いらっつななじゃないっ？ いらっつ面白いらっつ。

パイプ 行っつた事あるんだっ？

ハッチ 行っつて言っつか、住んでる、みたいな？ 普段はあつちらっつ。

パイプ そつ。

ハッチ じゃあ……、連れてっつてあげまっつかなっ？

パイプ ホントにっ？

ハッチ ちよつと帰るってだし。

パイプ ありがとう。え、ホントに？

ハッチ うん、うん。

パイプ でもあつたしな。でもつねにわかんないじゃないか？

ハッチ そそ。どっちかっていうと「行く方」は「来る」感じ？ あちこち移動してるからさ道

そのものが。

パイプ 道そのもの。

ハッチ うん。

パイプ だけど、建物とかが移動しているわけじゃないでしょ？

ハッチ そうだね。基本は人間だけ？ 瞬間移動みたぐバーってどっか行っちゃう。

パイプ それはどっという原理なの？

ハッチ あんね……

パイプ うん

ハッチ わかんないの。

パイプ あ、そう。

ハッチ わかんないけど行っちゃうの。いわは道そのものって何よって話なの。

パイプ ん？

ハッチ じゃ質問。そこらへんのビルが一瞬壊されても道がなくなったとは言わないでしょ？

パイプ じゃあ、2件なびっ？

パイプ そんなべっいなびっ……

ハッチ 大丈夫でしょ？ でも、通りぞいの建物が全部なくなると、ただっ広い砂漠みたいにな

っちゃうたらびっつか？

パイプ んー。人が残ってねばいいんじゃない？

ハッチ そうなんだよねー！

パイプ そこの「道」があるって想像する力があねばそれはまだ「道」として機能する。だって

「道」ってのは人間の事だからね。

ハッチ 語るね。

パイプ うんわっ？

ハッチ いや、でもさっういっうだと思っ。そんだけ興味あるんだったら大丈夫でしょ。

パイプ 何が

ハッチ なんかさつき、ヤル気がでないみたいになこといっただけじゃ、

パイプ ああ……。ま、これを行動に移すまでにも随分時間かかってんだけどね

ハッチ そうなんだ。

パイプ それにこれだって本当にやりたいことなのかどっかわからない。

ハッチ ……死んじゃええ？ っっていうのはナシなの？

パイプ ナシじゃないんだけど「死にたい」とかもなくて。

ハッチ へー。

パイプ 殺されるんだったらねはねだけっ……………。

ハッチ あんたホント面倒くさいね。

パイプ だからどうやって話を聞いてもらうのにな、お金払わなくちゃいけない。

ハッチ ふう

パイプ ……いいこといいことをスバッとどうね

ハッチ じめえ。

パイプ いや、いいんだけどね、別に全然悪い感じはしなかったし。なんかお礼とかしたほうが

いいかな？

ハッチ いいよ。奢ってもいいよ。

パイプ でも……あそびっ？

ハッチ うん。

パイプ 俺じゃなくても奢ってくれる人はたくさんいるんじゃないの？

ハッチ だから何？

パイプ だからつまり……、君はあれだね特に性格がいいね。

ハッチ あんた、ヘンな人だね。

パイプ あ、そう。ヘン？ヘンかな？

ハッチ うん。

パイプ なんだったらあれだよ、あげるよ、あの、俺の時間を。

ハッチ おー……。ありがたじ。

パイプ うん。じゃあ、そうだね、うん、50年分あげる。

ハッチ はあ？いらないよそんなに。何いってんの？

パイプ いやいや、君にもらって欲しいんだよ。うん。

ハッチ 何やる気なへんってんの？50年？10億秒以上あんじゃない？え？

パイプ いーのいーの。俺には必要ないから。もらってほしいんだよ、どうせなら性格のいい

二人、ちょっと笑う。

ハッチ じゃあもじっし。

パイプ ありがたじ。うん、行くじ。

ハッチ うん。

曲ー。二人、移動。

この時点で人がぞろぞろ出てきて二人の周りを囲む。

ジエット その道は面白いさ。

カサ 暮れなほ夏の夕暮れあの夕焼けの、

キュー アスファルトぬれ始める時のあの臭い。

産毛 あのその道の道は

ジエット 面白いさ。

パイプ こんな感じで坐ってればいいの？

ハッチ うん。シャッフルになるまでもうちょっと待ってて。

パイプ うん。……この坐っている人たちがみんなミネストローネに行くの？

ハッチ 同じところ行くわけじゃないよ。ミネストローネってのは「場所」じゃないから。パイプ 場所じゃないの？

ハッチ あっちこっちにミネストローネの巡回コースってのがあってね、

パイプ うん

ハッチ 何干とか、結構数あるらしいんだけど、あ、ほら、なんかすごい沢山兄弟いる、姉妹都市みたいなき感じだね。

パイプ ああ……。

ハッチ で、このもそのーし。そのーの全部ひっくるめてミネストローネって呼んでるの。パイプ システムにつけられた名前だっことか。

ハッチ そう、かな？

パイプ じゃ、このみんなは「道」に行くの？

ハッチ ーン。わりとバツけると思うよ。それぞれイメージした人が居る「道」にたどり着くから。

パイプ 行き先はわかんないんだ？

ハッチ わかんない。だってあたしのイメージする人も移動しているでしょ？

パイプ そうなんだ。

ハッチ で、シャッフルされてシャッフルされてその人と同じところに行くの。

パイプ じゃ、ハッチはハッチの知り合いのところに行くの？

ハッチ そうそう。思い出してね。

パイプ え、じゃ俺は誰をイメージしたらいいの？

ハッチ あたしに決まってるんじゃない。

パイプ そっか。

ハッチ 大丈夫、そんな難しくないから。一緒に行きたいと思っててくれれば大抵平気。

パイプ わかった。

ハッチ で、合図したら立つ。何それ、煙草？パイプ好きなの？

パイプ え、うん。

ハッチ あ、パイプ君名前教えてよ。

パイプ パイプ君でいいよ。

ハッチ あそう。

パイプ、それには答えず、間。

パイプ トウゴウ・カンジって知ってる？
ハッチ ん、誰？
パイプ 現代美術家っていうのが、簡単に言えば画家なだけだよ、トウゴウ・カンジ
ハッチ 知らない。有名なの。
パイプ ま場所によっちは。そのトウゴウの絵に「ビジネス STORE」っていうのがあって、
ハッチ うん
パイプ パッと見は、普通のあの、スープの絵なんだよ。レストランの厨房かなんかにあるよう
なスープ鍋の中にいろんな野菜が入ってる。それがまたすっごいでっかい絵だよ。
ハッチ どう？
パイプ いや、普通の俺の身長の数倍くらいあったよって言えが。
ハッチ 確か。
パイプ それよ〜見るとな、
ハッチ うん
パイプ 野菜に見えるのは実は全部裸の女の子の身体なんだよ。
ハッチ 女の？
パイプ そう。ビジネスになっちゃうたら、そのまんまの形だったり、サイズはまちまちなだけ、
近づいて見ると、ものすごい数の女の子が中に埋まっているんだよ。
その女の子達がもうびっぴりひらひらするくらいみんな可愛いんだよ。一人一人ちゃんと身体つ
きが違ってたのは、みんなきれいな顔なの。なんだっていうか、その、うーん
ハッチ レベル高いんだ。
パイプ そうレベル高いんだな。で、表情とかもちゃんとあって。バラバラになっておっばいだ
けで浮いてたりとかかすめんだのは、あの内の生きている女の子の一人と目があつたん
だよ。バチッ。
ハッチ ああ
パイプ その顔に憧れちゃうって。あの。もうそんな状況なんだから、苦しい顔してもよそそうなも
んだとなんだけ、なんだとも言えない、すげえいい顔してんだ。
ハッチ うん
パイプ その子と目が合って意外な感じがしたんだよね。
ハッチ ？
パイプ 自分が身体を見られているっていう感覚が。
ハッチ なんていっても見られるんじゃないの、身体って？
パイプ 身体があるんだってことを忘れてた。不思議だよな。なんで人間には身体があるんだろ
う
ハッチ 普通にものごとく、そんなら。
パイプ そんなでもないんじゃないかと思ってる。少な〜とも俺は自分の身体に違和感を感じてるし、
ハッチ ハッチのしほのインプリントだってしほの。
ハッチ ああ、しほ？
パイプ 身体に違和感があるから、しら、そういうのって「もっぴかわら〜なりた〜」とか、変身願

望を持つ訳でしょ？

ハッチ これそんな大したもんじゃないよ。約束でつけてるだけ。

パイプ 約束？ なんの？

ハッチ っー？ いろいろ忘れないようにさ。その時の気持を。だから友達と3人でつけたんだもん。

パイプ そういつのわかるよ、俺も一時期トリオででっかい仕事してたからさ。

ハッチ じゃ、向こうついたらあたしの友達紹介してあげよっか？

パイプ いいね。あれ、雨降ってきちゃったね。

ハッチ いいのいいの。あ、静かにしてて、音楽聞えないから。

パイプ え、なんなの？

ハッチ もつすべ「ミネストローネ」が来る時間

照明、音響？

パイプ 聞いてくれよハッチ。

ハッチ え？

パイプ だけどトウゴウは言ってたんだ、あの絵は失敗だったって。「ミネストローネ」ってのは人間の体もっている曲線美ってものがどこまで分解可能かってことの一つの実験だったんだ。だけ、ビビ、フキの皮膚だけ取り出しても誰もそれをフキだとはわかってくれないわけでしょ？ 当然、肩や胸が必要になってくる。そうなるよ、今度は胸の曲線が不完全なことが気になってしまっ。

ハッチ 何の話？

パイプ 結局、人間の部分を描く為には人間全体を描く必要があって、さらに言えば、一人の人間を書くためには多くの人間とつながっている姿を描かなくちゃいけない、つまりはフキ一つ分の美しさを表現するためにも宇宙一つ分のキャンバスが絶対的に必要になってくる。

ハッチ ちよつとは黙っていられたの？

パイプ 怖いんだよじゃべってないよ。だから聞いてくれハッチ。

ハッチ 何なのー？

パイプ ミネストローネって、タイトルはダブルミーニングで、スプーのじゃその道のじゃ、両方の意味をのつけてるんだ。あの道も、人間の「旅」の形を分解する一つの実験なんだ。だから俺もっも一度は見ておかなへちゃいけないと思っつわ。

ハッチ そうなの？

パイプ だってあの道を作ったのは俺なんだ。

声。の、掛け合いが入る。

ハッチ っゝゝっー！ せーの……

「ここまで音が大きくなってきていて、パイプの声はだんだんと大きくなってきている。命図ではちよとがる。」

道案内：「ミネストローネへ」

キユー そのには道があつて、人が暮らしていた。かつて多くの人がそこを通り過ぎ、今日も通りの過ぎ、多分明日も通り過ぎる。明日のことはわからないから、多分をしる。だけ、きつと通る。

ジエット ここは道だから誰もここを自分の家だとは言わない。

キユー けれど道のどこかは自分の場所だとか、産毛の場所だとかいって縄張りを決めたりする。

ジエット 旅をするのはいつも他人。

ケッタ 自分はいつも自分のところにいるからね。

キユー わかっている旅人と、わかっている旅人がその日、この道にやってきました。

ジエット ストリート。

キユー とうとう言葉もなんだか小洒落ているばかりで意味がない。

ケッタ 道。

キユー とうとう、武士道、とか、柔道、とか重たい感じがしてくるからなんだかちょっと嫌だ。

ガクシャ 私が坐つていながらはじか？

カサ アスファルト。

メニコン コンクリート。

ジエット リノリウム。

キユー つまりは人工の石。石の道。未知の石。未知の反対は既知。つまり、基地。

ヤブメニ ベース。

キユー ここは基地であり、道である。街じゃない。

ジエット マチ。

カサ ミチ。

ジエット モチ。

カサ ムチ。

ジエット ムチムチ。

メニコン ムッチムチ

カサ ピチ。

ジエット ピチピチ。

メニコン ピッチピチ

ジエット ビチ。

カサ ビーチ。
ケッタ ブチブチブチブチ。

カサ ダスティン・ホフマンが真夜中にカウボーイと一緒に過ごしたあの道だ！
キュウ 萎えていうことを効かなくなった脚を引き摺りながら歩いた道。

この道は門。

この道は玄関。

この道はドア。

この道は入口。

この道は広場。

この道は自由。

この道は砂漠

この道は炎

この道は治外法権

この道は1人ぼっち

この道はゴミ捨て場。

この道は廃墟。

この道は宝の山。

この道は1人ぼっち。

この道は家。

この道はみんなの家。

この道はメロディー。

この道はみんなのメロディー。

この道はみんなの幸せなメロディー。

この道は1人ぼっち。

この道はこの道。

チー 「ミネストローネ」！

曲 inc.

ジエット そこに少年がやっつけている。

キュウ 少年はオレンジ色のジャージを羽織っていて自分がどこの誰だわからない。少年はカサを差して少年はやるじぶがなご。

ジエット もう独りの少年はこの道の管理をこなさな

メニロン うさめうさめうさめうさめうさめうさめ。

ジエット この道は死体置き場。

キユー けれど、ここにはひとつの死体もない。
ケッタ 死体のない道。

メニコン 当たり前？

キユー とんでもない。場所によっちゃ毎日新しい死体が道に転がる。

カサ 死体になると、

キユー 外から人がやって来て、死体だけを遠くに運んでくれる。

カサ 死体になると、

キユー ここを出て行ける。だからここは入口。

カサ 出口は別の世界にある。

キユー そう。出口は別の世界にある。

カサ ここは入口。

ジエメニ シャツ フル。

ガクシヤ シャツフル？

カサ この道にはバイクがあって、ヘルメットをしてる。バイクがあるんだよ。

ジエット ラスト・シーンはバイクののって二人乗りをして誰かと誰かが旅をするところ。

キユー 出口だよ。

ジエット だけど

キユー これは出口を探す物語なんかじゃない。

カサ この道は天井がすごく低いんだ。地上90センチの王国。地上90センチの天国。地上90センチの世界。世界世界。

キユー だけどさ、地を這いつくばっちゃうとまた別の世界にいつっちゃうんだよ。

カサ ところからじじ。

キユー 上でもなけりゃ下でもない。

カサ ところからじじ。

キユー ジベタにはジベタの論理がある。

カサ ところからじじ。

ケッタ ジベタ

カサ 地上30センチ以上90センチ以下の60センチ。

ジエット の。

カサ 王国。動けなくなったやつが、死ぬまでの間にじじがいる。世界中じじにでも地上30センチ以上90センチ以下王国は広がってる。

ジエット この国の領土は無量大だ。 日ハハ

キユー 言葉とは身体のことだ。

ジエット 日ハハ

キユー この言葉は誰かのためにも。

ジェット つまり、
キユー この身体も誰かのためにある。誰の、
ジェット 誰の、
キユー 誰の、ためじ？
カサ 誰のための身体なのかはわからない。
ケッタ けれどこの身体はあらかじめ誰かに差し出されたものだ。この言葉があらかじめ誰かに
差し出されたものであったらよいじ。
キユー お客さんに。
パイプ ハッチ俺の話を聞いてくれ。
カサ 見る今日は月が、
パイプ 元気でな。
カサ お前もな。一二昇る夜だ。

到着

到着：『絶望』がない

ヒカリ、ハッチ、ジェット、パイプ

パイプ 意外と普通なんだね。
ハッチ ま、普通のトコだよ。
ヒカリ ハッチ！
ハッチ おー、ヒカリ、久しぶり。ジェット
ジェット ういー
ヒカリ ふぶちり食べへてきた？
ハッチ あー、うん。
ジェット 誰これ？
ハッチ ん？ ああ、パイプ君。一緒に来たっていうから
ジェット ああ……
パイプ あ、どうも。こんにちは。
ヒカリ いくし？
パイプ え、僕は、あれだよ、28。
ジェット うそ、

パイプ坐ると音楽が聞える。

パイプ あ、音楽……。
ハッチ じゃ産毛さんと一緒に来たんだ。

パイプ あ、そう。産毛さん。
ジエット なんぞこんなところ来たの？
パイプ ん、いや、探し物？
ジエット 何？
パイプ 僕はね、絶望を探してたの。
ジエット は？
ヒカリ ポエマーだ。
パイプ あのね、(笑)、いや、いいたかったの。僕の絶望を知りませんか・って。希望っていつもいんだけど、
ハッチ 希望と絶望って、
ジエット 別物じゃん？
パイプ それが案外同なんじゃないかと思って。希望がなければ絶望もしない。一つの裏表っていつか……。
ハッチ ふーん。
ヒカリ それ、ないダメなの？
パイプ 俺の絶望と希望を動力源にしてこの道は動いてる。
ヒカリ は？
パイプ それがちゃんと思っているのをこの目で確かめておきたかったんだよ。
ヒカリ 頭、大丈夫なのこの人？
ハッチ ちよつと変つてるの。
ジエット ハッチ、このケッタ「へ」は？ 楽しみに待ってるのよ。
ハッチ え？ いろいろ別よ。そなたなじやないっ。ねえ
パイプ え、あ、うん。
ヒカリ ケッタ君って？
ジエット 別よ。
ヒカリ ……へー。
ハッチ あー、や、や、彼氏彼氏。

「こいつはいつの間にか人のおぼけになが甘栗を食へながら近づいてきてるの。皆、それに向けて食へてるの。」

到着:「あなたも食へるの?」

甘栗 何やってるの?
ジエット 別に何が。
甘栗 こねな、いま来たの?
ジエット ああ、うん。
甘栗 あ、そ。う。す。い。す。い。だ。何ぢやん?

ハッチ ハッチちゃん？

甘栗 じゃあ、ハッチちゃん達に甘栗をあげよう。

甘栗を渡すおばさん。もらうハッチ、ジェット。

甘栗 何やってる！あんだ、仕事は。

ハッチ 別に。

甘栗 ふうん。どう？ まずくしょ。

ジェット うん。

甘栗 ダメだね。もうおばさんだ。

とっついて、空になった甘栗の袋を捨てる。

大きな紙袋から別の紙袋を取り出して、

ジェット おばさん何してる人なの？

甘栗 あたし？ 占い師。

女達 おおー

甘栗 占い？

ヒカリ 何占い？

甘栗 なんでもやるわ、もういっぱい。

ジェット じゃあ、手相とが見れるの？

甘栗 手相は……(無理)。

ジェット なんでもつけていたじゃな。

甘栗 手相はだって、ほら、ねえ。

パイプ ……わりと基本じゃないんですけどね

甘栗 手相じゃ見ようか？

ヒカリ わかんないんですけど？ 無理しないでいいから。

甘栗 あんだウチ来ない？ 今晚？

ヒカリ え？ アタシ？

甘栗 そりゃみんなはダメよ。そんなに広くないから。止まるところないんですよ？

ヒカリ いや、うん……。

甘栗 でしょ。アంత最近ずっとうわうわうわうわからわ。

ヒカリ いや、あ、おばさんもじゃな。

甘栗 よ〜会しようね。

ヒカリ うん。

ジェット 誰これ知り合ご？

ヒカリ 別に知り合ごってわけどもなごは……

ジェット よかったね、油めりさあはらさごはらさごはらさご

ヒカリ ななで
ジエット だつて困っているでしょ？ 見るからに。
甘栗 じゃ、おいでしょ。泊めてやっから。あんた手エでおいたのそれ？
ヒカリ え
甘栗 ハートみたいになっっているけど……。

ヒカリの手にはインプラント。シリコンが埋め込まれている。

ヒカリ インプラント。
パイプ ヘー。インプラント？
ハッチ うん、昔3人を入れたんだ。
ジエット あたしは取っちゃったけどね。
甘栗 ああ、インプラントね。
ジエット 知らないんですけど？
甘栗 うん、ごめん。
ハッチ あれだよ、このハート形のシリコン埋め込んでんの。
甘栗 シリコンって、どうやって入れんの？
ヒカリ え、手術で？ 開いて、入れて、閉じてって。
甘栗 自分でー？
ヒカリ いやいや、ちゃんと医者さんにやってもらったの。ヤブさんていう……。
パイプ ヤブさん……
甘栗 嫌な名前。
ハッチ あれ本名じゃなくでしょ？
ヒカリ そうなの？
甘栗 なんの役に立つのこのハート？
ヒカリ 別に……なんかいいじゃん
甘栗 はあ……。
パイプ ねえ、そのヤブさんてのはお医者さんなんだよね？
ハッチ あ、うん、ななで？
パイプ よかったら紹介してもらえないかな。
ハッチ えー、ま、うんね。

到着・「パズル」

そこへ産毛登場。

産毛 うーす。来てたんだ。
ハッチ あ、さっき。産毛さんお久しぶりです。

産毛 なんかいつぱいいるな。誰？ 一のおばさんお母さん？
ハッチ やめてよ。全然知らない人。

産毛 あそつ。

ヒカリ あー！ 産毛さんこの前あったよね。

産毛 あーマジで？

ヒカリ なんか挨拶したんだけど、超無視したでしょ。

産毛 あーマジで。

ハッチ 気づかなかったんじゃない？

ヒカリ いや、だってすぐ近くで挨拶したんだよ。

産毛 あーマジで。じゃ、今度会ったら俺から挨拶するからな、

ヒカリ うん

産毛 1回無視してごうよ。

ジエット なんだ？

産毛 誰これ？

ジエット さっき会ったばかりだけど……

産毛 あーマジで

ジエット マジでね。

産毛 じゃ、飯行ごうよ。

ハッチ ヒカリ。

ヒカリ あ、たしはいいや、うん。

ハッチ え……。

ジエット じゃ、行ごう。またね。

ヒカリ うん、じゃあね。

残されたヒカリふと見る。またおばちゃん。目があつ。

甘栗 あんたは行かないでよかったの？ 一緒に？

ヒカリ うん。

甘栗 ウチ来る？

ヒカリ あ、ね。でも、いいの？

甘栗 いいよいいよ。その代わりあんた明日から仕事探しな。おばさん手伝ってやっからな。

ヒカリ お風呂あんの？

甘栗 ないよ。シャワーだけね。

ヒカリ えー、病気になるっちゃうよ。

甘栗 なんだ、じゃあたしは病気だと言いたいのかよ。ま、病気だけよ。

ヒカリ え？

甘栗 大丈夫、移る病気じゃないから。治る病気でもないけどね。いや……聞かないで。

ヒカリ 聞かない。聞かないよ。近いのおばさん家？

甘栗 虫歯なの。
ヒカリ 聞いてないよ。しかもそれ……、病気って言わないよ虫歯は
甘栗 立派な病気だよ。家は、歩いて30分くらい。
ヒカリ 遠。
甘栗 来ないの？
ヒカリ 行く行く。
甘栗 あっ、おばさんじゃならぬわっかから。
ヒカリ じゃなんて呼ぶばいなの？
甘栗 え、なんでもいけばいいじゃん、ロロロ。甘栗。
ヒカリ じゃ、行く。甘栗はあまた。

と、言いながら去る二人。セリフの後半部分はすでに音楽で聞えない。

到着：「旅したく」

パイプ やあ、こんなに早くヤブさんに会えるとは思ってなかったですよ。
ヤブ おう
ハッチ え、何、ヤブさん知ってたの？
ヤブ だから言ってるんだろ、俺場所によつてはマジで有名なんだって。
ハッチ へー。
メニコン 助手のメニコンです。……先日コンタクトに変えました。
パイプ それでの、
メニコン わー、無視がよ
パイプ ヤブさんが「旅」をさせたいわっていらつのはめのため
ヤブ ああ「旅」ね。本当だよ。
ハッチ あれ、ヤブさん医者じゃなかったの
メニコン ね、ね、無視された……
ヤブ うるせえな。ハイ、メニコンです。コンタクトに変えました。
ハッチ わー。

ハッチ、パイプ、エセ拍手。メニコン、突っ伏す。

ヤブ 医者兼、シアーコンタクターなんだよ。医者じゃなきゃ案内できない「旅」があんだよ。
パイプ はい。
ヤブ じゃあいらつのがいらつなの？
パイプ もう、もういらつてくまに行つてみたいんです。
ヤブ いらつてくま、高いらつよ。

パイプ お金ならありますから。

ヤブ んじゃ、身体を一つ用意しないとイケないから、その間、「ミネストローネ」でのんびりしててよ。そうだな、3日後にもう一回来てよ。その時に出席してよってよいか。パイプ はい。

と、ケッタ、キューがどこからか口を挟む。

ケッタ っついったのが運の尽き。

キュー え？

ケッタ 「ミネストローネ」はそこままで安全じゃないってこと。今時こんな彫り物も埋め込みもないきれいな身体持った奴がフワフワ歩いてたらそりゃ……。

天然ものはいい値段つくからね。

ケッタ 注意してあげないんだもんな、ヤブさんも

キュー 何、取られるやつの方が悪いって？

ケッタ そりゃそりゃでしょ。

キュー 都合いいねえ自分じゃっか。

ケッタ だって……そりゃ？「にじじゃそりゃいうルールだからしょうがねえよ。それじゃ仕事に。キュー っつってっつじゃい。

ヤブはけ？ 再びパイプとハッチ二人きり。

パイプ それじゃ、んじもありがとつハッチ。助かったよ。

ハッチ うん……。んもごの？ 本当500年分せ。

パイプ これからでもっついにいってんのか？

ハッチ ん？ まあ、多分、ごめい。

パイプ っつってんのか。それごひんごひん案内してんわな。

ハッチ うん。

パイプ 元気だな。

カサ お前もな。

場面、真夜中に戻る。

音：in

キュー ハッチの口座に命の時間を振り込んでから数時間後、仮にパイプと呼ぶことになったこの

男は街の人間に出会う。そのわずか数時間後、

パイプ そりゃ無理だ。

カサ え？

パイプ せつすへん元気じゃなくなんのから。

パイプ、去る。

人の声がしてゾロゾロ人が入ってくる。

ケッタ いたぞー！ やっちまえおらアー！

音楽、も。

人がゾロゾロと勢い込んで入ってくる。ある者は自転車に乗っている。

又ンチャクとかバカバカしくていいね。隠れるようにしてカサは一旦はける。

カサはパイプがバラバラにされるところを目撃する

キユー 彼の身体はバラバラにされてしまった。まるで肉片にむらがるカラスみたいな「あの道」

の男達は、自分の腕や、足や、皮膚なんかに飽きてしまっていて何の加工もしていない

身体に対して異常な執着をもっている。それは多分、

ケッタ 新品のバイク拾うような感覚かな。

キユー 他人のことはよくわからないから多分をつける。

ケッタ 慎重だね。

キユー 切り取った身体の代わりに自分のそれまでの腕や足をおいていく。結果として現場には、

複数の人間の肉片と血と、パイプの身体で一番役に立たない部分が残る。

ケッタ 頭が。

キユー それが一番大事だったんだけどね。持ってかれちゃったハッチに。

ケッタ おせっかいなんだよなあいつは。

キユー 大事にしてあげな。

ケッタ してたよ俺は。でも頭だけで生き延びちゃうんだから、簡単には死ねなくなったよな。

キユー そう？ 今だってほっとけば、虫歯でも人は死ぬ。

ケッタ だったらわざわざ国が寿命なんか決めなかったっていいのにな

キユー そりゃ権力は自然を支配したがるものだから。

ケッタ 70年？

キユー そ。約20億秒。

ケッタ ゼロ一個とつて2億円。

キユー だいたい生涯年収ってそんなもんでしょ？ まじめに働いて20億秒稼げば70年。大

金持ちになねばもつてもつと生きたいけえ。

ケッタ 貧乏人は税金でさっさと殺されちゃうけど

キユー そう、二二二じゃ命の単位がお金の単位になってんの。次に始まるのが、何もかも忘れち

やってるヤツの話。

ケッタ 初めにカサもって、しゃがみ込んでた彼ね。

キユー そう彼の話。第2章のタイトルは「ネストローネの巡回コースの二二二アラビアン砂漠

パーク」

お役所 え
ゴーグル いったも同じ場所にずーっと坐ってるから。な。
ガクシヤ たまにゃ散歩べらじするよ
ゴーグル その程度だよ。
ケッタ なんせガクシヤってべらいだからさずーっと机の前でお勉強だよ。それよか、あの女
二人怪しいんじゃないかねの？ おぼさごと、ほらあごじ。
ゴーグル 怪しいね。
甘栗 はあ？
ヒカリ ちよっと何言ってるの。
ケッタ 最近、二人でいるんでいっつもなんか変なことやってるからね。頭おかしいんだよ、
ゴーグル 変なプラスチックカード持ってわめいてたりとか。
ジェット お金も相当、困ってるみたいだし、
お役所 ……ていわねちゃってますけど、じいんです？
甘栗 そりゃお金はあんまりないですけど、
お役所 この件に関しては何か？
甘栗 何もやってません。そんな大人の男と喧嘩してもね？ 勝てっくない。
キユー なんか見たものとかありますか？

キユーはヒカリに話を振る。

ヒカリ あたしは別に何も。それより、死んだのはあの人たちの仲間だったことは確かですよ。
お役所 お、お、そうですね。
ヒカリ 一緒にいるじいさんも見ているし、だから殺したのもあの人たちの中の誰かしが居ないと
思いますよ。
お役所 それ結構重要な証言なんじゃない、ね。
ケッタ ね、ね、ね。こいつ嘘つきだから、信じないほうがいいよ。
お役所 あ、そうですねですか？
ケッタ 俺らの間では有名な話よ。な。
ジェット 前にあたしの友達のネックレス盗んで、それあたしの知り合ごに売らせびいじりてん
ばれたってじいひ……。
ケッタ 馬鹿なんすよ。
ヒカリ あれは買ったんです。
ケッタ ほらね。
ジェット オーダーメイドで作ってもらった奴だから売ってないものだって言っただけじゃ、
ヒカリ だから誰かが盗んでそれ売りに出したんじゃないの？ 知らないけど。あたしは中古
屋みたいなところでちゃんとお金出して買いました。
ジェット みたいなとこ(笑)？
ケッタ ぶこ(笑)？

ヒカリ
ケッタ
誰が信じるんですかそんな話？

お役所
んー、それはどっちでもいいんだけどね、その取られた友達ってのはこの人間なの？

ジエツト
うん、そう。

お役所
来てないの、今日は。

ジエツト
うん。

お役所
もう、面倒臭いから、呼ばれたらちゃんと来るようにいついてくださいよ。

ジエツト
あたしが(笑)？ 自分でいつてよ。

お役所
はいはい

産毛
(お役所を待たずに) 例えばね、

お役所
はい。

産毛
あのバラバラにされちゃった彼、を殺した犯人を俺らが知ってたとしてね、何であんなにいわなきゃいけなのってこういう話でしょよ。

お役所
そりゃ、言ってくたさいよ。一応こっちも治安維持とか仕事なんですから。

産毛
それは俺がやるてるから。

お役所
ん？

産毛
だから、そういうこととは全部、俺が仕切ってるから。

ジエツト
今まで散々放置してて、今更、ねえ。

産毛
全然あんたの立ち入る話じゃないから。

お役所
いや、じゃあまあいいですけど、じゃああなたは、どうしておと前を付けてくれるんですか？

産毛
は？

お役所
いや、「はっ、」じゃなくて。その犯人をあなたが見つけたとしてね、どういったおと前を付けてくれるのか。ま、おと前って言う言葉もあれだは、ま、まあ、まあ、そこらでどうして、どうしてなのさ？

産毛
追放するよ。

お役所
それじゃ意味ないでしょよ。一番困りますよ。

産毛
いなくならいいんだら？

お役所
周りの人が迷惑でしょう。解決にたないんですよそんなじゃ。

産毛
じゃ、あれだな。

お役所
はい

間。

お役所
え、どうするんですか？

産毛
殺すしかねえな。

お役所
………まじますか？？ ちゃんと確認に来ますか？？

産毛 じゃねえよ。

お役所 どうせべらうらうら〜

産毛 知らねえよ。

お役所 じゃ1週間。でやっつてくださる。なんでも結果をないやうにしたららう。ちもまた動き出しますわ。

キユー もちろん、もっていったイイプリントを返してやろな。

お役所 そうそうそれ大事ですね。じゃ、本日はどうも

全員起立。はけ。

カサ

カサ：何がクシヤ？

ヤブ おーす。

ガクシヤ うるせえな

ヤブ ガクシヤも取り調べいつてきたの？

ガクシヤ 時間の無駄だあんなもん。

ヤブ どんなこと聞かれたの？

ガクシヤ お前こそ顔出さないでよかったのかよ

ヤブ あれ行かなかつたらどうかなんのかな？

ガクシヤ 行かないですむんなら俺が行ってねえよ。

ヤブ ……それ何書いてるのいつてせ？

ガクシヤ なんだつていいだろ。

ヤブ お、つれねえな。

ガクシヤ 仕事しろ仕事。忙しいんじゃないのかお医者さんは。

ヤブ 誰から聞いたのそんなの？

ガクシヤ 知ってるよ。ヤブ、ヤブって、あれ、ヤブ医者のヤブなんだろ。

ヤブ ヤブじゃねえけどな。モグリモグリ。

ガクシヤ 似たようなもんじゃねえか。

ヤブ バカ、全然違うよ。バカ。ブリックジャックしてるだろ？

ガクシヤ あん

ヤブ あいつはおめえ、モグリだけやヤブ医者ではないだろ？ 逆にモグリじゃないけどヤブつてのはいいいっほいっほいだらうらうらうが、つていつかモグリかしヤブだったら、それただの人だ

らうがモナー！

ガクシヤ ごめん。悪かったな。

ヤブ 本気で謝ってるのかよ。

ガクシヤ え

ヤブ その顔は本気で謝ってる顔に見えねえっていつてんだよ
割と本気なんだけど……。

ヤブ ホントかよ。……ごめんな。

ガクシヤ え、え？

ヤブ いや、疑っちゃってさ。本当なのよ。

ガクシヤ 基準がわからねえなおまえは。

ヤブ ま、徐々に徐々に。で、何書ってるの？

ガクシヤ だからなんでもいいんだよ。

ヤブ 嘘、なんでもいいもの書ってるの。じゃ、俺も書いじ。

ガクシヤ やめろよ、おまえ、

ヤブ クレヨンしんちゃんか、しずかちゃんを強姦してるのとこをあの、ウメズカズオ風な夕
ツチで描くわ。「ギャー……誰かに見られるのよ……」「しずかちゃんのかせにせずか
にしないのは理不尽だろ。オラの象さんが火を噴く」「のび太と……」「ズローン！
「ロー……」「へっ……」「ギャー……」「へっ……」「ギャー……」

ヤブ、やるだけやって帰る。

メニコン、途中から見ている。終わってから出て来る。

ガクシヤ ……もついでなの？

ヤブ (黙ってうなづいて)

ガクシヤ お友だちがうじうじしてる。

メニコン ビーモオ。

ヤブ いないうつ言いつい。いなうつ言いついよー

ガクシヤ 何がそんなに寂しいんだよ。

ヤブ ナア。何がそんなに寂しいんだろうな。暇なんだよ。

ガクシヤ お前も来なかつたら

メニコン うん。さぼっちゃった。

ガクシヤ 真面目に行ったのがバカみたいだな。

メニコン 何書いてるの？

ガクシヤ 先生の原稿の続き。

ヤブ なんで一発で答えるんだよ。

ガクシヤ あ、さわんなよ。

メニコン ごめん。これなに？ 原稿用紙？

ヤブ、原稿用紙の束で出来た机のようなものを示しながら。

ガクシヤ 机だよ机。

ヤブ お気に入りなんだ？

ガクシヤ うん。先生のね。

ヤブ え、それって前によくいたヒゲのおっさん？

ガクシヤ そうヒゲのおっさん。

メニコン え、ガクシヤってさ、なんの学者なの？

ガクシヤ あ？ ガクシヤじゃないよ。

メニコン あ、違っの？

ヤブ なんだ。みんなガクシヤガクシヤ言ってるから。

ガクシヤ そんなじゃないよ。

メニコン ぶーん。

ヤブ 前はなんかでかい会社に勤めてたんでしょ？

ガクシヤ ま、ガクシヤよりは近いな。出版関係。

ヤブ 作家？

ガクシヤ 違っ違っ。サラリーマンだよ。先生の担当編集者。

ヤブ 先生の……。じゃ、ヒゲのおっさんがガクシヤだったのか？

ガクシヤ そう、かな。作家って言うか……。

メニコン じゃ原稿の続きなとて、誰でも書けるせんじゃないでしょ？

ガクシヤ 誰でもは書けないよ。

ヤブ おオ？

ガクシヤ いや、そりゃ誰でもはちよっとな。

ヤブ あれ、「先生」お気に入りの机置こしてらっしゃったの？

ガクシヤ 死んだ。

ヤブ あ……

問。

ヤブ じゃ、ガクシヤはあれか、御主人の帰りを毎日待っていた忠犬みたいなもんか。テレン！

さて、その忠犬の名前とはなんでしよう？ 1. ハチコ。2. パピコ。3. マチコ。4.

長谷川町子。

ガクシヤ 疲れるでしょ、一緒に居っ？

メニコン 慣れた。

ヤブ 相手にしてへくれよォー。

ガクシヤ 俺はそんな丁寧じゃないんだよ。

メニコン なんで死んじやったのその先生？

ガクシヤ え？ 一丁の机置こしてもなんか書いてたんだけど、

メニコン うん

ガクシヤ もうすごい勢いで描くから段々紙が少なくなっってひっくりかえってきちゃ。

メニコン うんうん。

ガクシヤ ぶさぶさ、さななななっってっ、気がついたら倒れこんだ。

ヤブ 過労死か。

ガクシヤ ま、そうかもな。だから原稿は途中で終り、本は出版されずじまい。

ヤブ やだよなー死ぬのは。運ばれちゃうしな

ガクシヤ 俺がせつせとその原稿会社まで運んでたんだから、半分は俺が殺したようなもんだ。

ヤブ 人殺しか。じゃ、俺と一緒にだな。

ガクシヤ ……。

ガクシヤ ちょっと離れる。ヤブ、ガクシヤを掴んで

ヤブ いやいやいや……

ガクシヤ は？ 坐りなおしたただけだよ。

ヤブ 仲良へしよつぜ、共通点多いんだしや。

メニコン べこが？

ヤブ あれでしょ、ガクシヤも昔運び屋だろ？

メニコン うん？

ヤブ おれも昔名簿屋やってたや、一件いへらっつって、個人情報入ったのD運んでたんだよ。

ガクシヤ ……ちよつと違つかな。

メニコン だよね。

ヤブ なんなら俺が届けてやろうかガクシヤの原稿？

ガクシヤ あん？

ヤブ 俺が運び屋やって、そのなんだ、出版社に届けてあげるよ。

ガクシヤ あれはそんな出版社に届けるようなもんじゃないんだよ。

ヤブ あそつ。

ガクシヤ うん

メニコン じゃ、自分が読むために原稿の続き書いてるの？

ガクシヤ 別に……。

メニコン ……本当に忠犬みたいだね。あ、帰ってきた。

ガクシヤ、それを見ること立ち上がったはけぬ。

ヤブ じゃまたな。

ガクシヤ ……おつ。

裁きを終えて帰ってきた連中がヤブと田舎会った。

曲二 ケッタ自転車に乗っつてる。

少し前から近くで話を聞いていたカサ、急に口を挟むといっせいに視線がそちらに飛び。

ヤブ 知り合いです？
ケッタ いや

産毛立ち上がり、

産毛 なんか用？
カサ いやいや別に。いじめんなさい。
産毛 や、別にいいんだけどね。
ケッタ なんか、見ない顔だね。
カサ ああ、来たばかりなんですよ本当。
ケッタ したらじゃあ、ちょっと話さないか、

ケッタ、立ち上がり、カサに坐るように促す。が、カサはかたくなに固辞する。

カサ いや、本当すいませんなんかあの、ちょっとあの
ゴーグル なに時間ないの？

カサ 時間は……そこですすね、ああ、ちょっと忙しいですすね本当すいません。

カサ、去る。

ケッタ なんだあれ。
ヤブ え、なにぞつか悪いの。
ケッタ いや、じゃあ、いいますよ
ヤブ いいからなんだよ。言えよ。
ケッタ 腕のなんか、この筋が痛いんですけど。
ヤブ どうね？
カサ 靱帯が炎症起しかけてますね。
ヤブ オナニーのやりすぎ……なんだよお前！

気づくと再び近くに居るカサ

カサ いや別に忙しくなかった。ですすよね。
ケッタ じゃ、もう坐れよ、暇なんだろ。
カサ 暇って言うけどまたちょっとニュアンス違ってくるんですけど、
メニコン うぜー
ゴーグル なんなんだよ。いいじゃん坐れよ。

カサ　でも、うぜーって……。

ゴーグル　気にすんなよ。別に意味ねえんだあれは

カサ、ケッタに促されてしゃがみ込む。

音i n。

カサ　あれ？　音楽が……。

カサ、立ち上がると音楽が聞えなくなる。

カサ　あれ？　これ？　あれ？

ヤブ　HSS入ってるから。

カサ　え？

ヤブ　なんだっけハイパー、

ケッタ　(いや知らないっす)。

ゴーグル　なんでしたっけ。

ジエット　ハイパー、ソニック、サウンド。

ヤブ　それぞれ。知らねえ？

カサ　ああ、話には聞いたことあったんだけど……。ホントにかなあれなとびすね。くっさり分かれてるんですね。

カサ、立ったりしゃがんだりを繰り返す。

カサ　あ、聞える、聞えない。聞える、聞えない。

ヤブ　おめえ絶対暇だろ。

カサ　それちょっとニユアンス違ってるとはですけど。え、これはあの、どっという範囲で流れてるんですか？

ケッタ　範囲って？

カサ　可聴領域ってどういうんですかその、こわってあれですよ、なんか音がレーザーみたいにこわ、局所的に聞えてるって言う……。

ヤブ　そっすっ。

カサ　どっからが聞える範囲なんでしょうか？

産毛　だいたい、こっから、(膝下10センチくらいの高さから、アンダーバストくらいの高さまでを示している)こっから、(肩の高さ)切ってあとだよね。だからこの高さはスーっっっ聞えるよ。

カサ　高さで。へー。なんかへんな高さじゃないですか。立ってたら聞えないんですよ。

産毛　丁度いいよ。こっから、(シバタに坐って聞いている)ほら立ってセカセカ歩いている奴と坐ってる奴じゃ全然リズム違うだろ？　曲も結構いいだろ、こわ。

カサ ですよね、なんかすごい。いやー、落ち着いていいなー。え、誰かが流してるんですけど、これ曲選なんで。

ゴ－グル そうそう。

産毛 俺の友達のロジがやってんだよ。

カサ そうなんですか。

産毛 そいつが広めてる話があんだけじゃ、

カサ はい

産毛 世界中のどこどこでも、しゃがみ込んだらこの道の音楽が聞えるようになってるさうさう。おあ。

産毛 しゃがみ込んでいる人間の世界が楽しくなったほつがいいじゃん。だからその、なんとつうの、ネットワークみたいのをどんどん広めてるんだよさ。

カサ ですかいつすね話が。

ヤブ ま、嘘なただけじゃね。

カサ え？

ヤブ あいつはね、マジでいい奴だったんだけど、ちょっとつう、ね。(フカシが多い)とのジエスチャー)

産毛 嘘じゃねえよ。これ、マジで今広がってるからさ。そよ。でもいいからおめえも今度ジエス

タにしゃがみこんでみな。そしたら、そこが道になるから。

カサ はい。

ヤブ 決まっちゃったねこれ。

メニコン 参った。

産毛 二つ二つ馬鹿は全然信じないからほっといていいから。

メニコン いや、信じてますっ。

カサ え、そのお友達のロジさんはなんていう人なんですか？

ヤブ お、それ聞いちゃう？

産毛 ロジ四五六(シゴロー)って言うんだけどね。

皆(ケッタ・ジエットを除く) 出たー。

ジエット ……うんわさよ

皆、静かになる。カサ立ち上がり音 OUT。

ジエット よへわかんない奴に。入ラ。入ラ。喋るめつないじじゃないでいしょ？

産毛 そういつわけじゃなくって……

ジエット くだらないよ、ほさつ。

ケッタ いや、まあ……。

そこへハッチが来る。

ハッチ ジェット
ケッタ あれ？
ハッチ お！ 久しぶり。
ケッタ おう。どうしたの？
ハッチ いや、ちょっと。
ジェット 遅かったね。

と、いいながらジェット立ち上がり、かたわらのヤブに立つように促して

ハッチ ごめえ。
ジェット ヤブちゃん悪いんだけど、ちょっとごめん？
ヤブ 何？
ジェット いや、このヤブが話あめってごめんかな。
ヤブ あー、何？
ジェット んー、あっちでもごめん？
ヤブ ん？ ああ、わかった。
ケッタ どうか行くの？
ハッチ 病院。
ケッタ え、何？
ジェット あんたはいいから。ここごめんよ。
ケッタ ……なんだよ。
ゴーグル だせ
ケッタ うんせ

ヤブ、ジェット、ハッチがはける。

カサ 俺なんかまずいこと聞いちゃいましたかね？
産毛 いやいや、おまえは別で……。ちっとな、俺も行くわ。

産毛去る。ケッタ、メニロンを追いかす。

ケッタ ほら、おまえもごめんよ。

カサ：蛇の道好

3人になりカサはちょっと居づらい。ケッタとゴーグルがなにやら小声で話している。雰囲気を感じて去るように立ち上がりながら。

カサ そんなじゃ俺もさうさう……

ケッタ おめえ仕事なにやってたの？

カサ え、俺すか？ あれです、あのキャラクターです。

ケッタ 嘘、すげえじゃね

カサ いや、そんな大した事ないですよ。

ゴーグル なにキャラクターって？

ケッタ ほらジエットさんがさうじやねえ。いとお前まだジエットさん変わるの見たことないんだっけ。

ゴーグル 変わる？

ケッタ え、あれでしょ？ キャラクターって、レブって人の身体をなんか、何ヶ月とかで借

りして、そいつの変わりにダイエットってその身体返すとか？

カサ あ、さうです。さうです。ダイエットはさうじやないんですけど。自分でやりたくない

こと全般、手術とか。試験とか……、結婚式ってのもありますね。

ゴーグル 結婚式？

カサ なんか緊張するからヤダっつって。さういつい時にまあ代わりにその人の身体を預かって、

万事上手くいったら返却するってこと。

ゴーグル そいつのキャラクターっていつんだ。

ケッタ だからジエットさん定期的にモデルチェンジすっから。

ゴーグル ええーさうなんだ。

ケッタ それこそほら、四五六さんさそいつだったらいつよ。

ゴーグル あ、さうなの？

カサ 四五六さんて今はあの？

ケッタ え、うん。

ゴーグル なんか事故ったんだっけ？

ケッタ らしいよ。ま、俺も見たわけじゃねえからわかんねえけど。

カサ ああ……。じゃ、今流れてる曲は、

ケッタ だから前に四五六さんが流してたのもあるし、あとは誰か友だちが引き継いでんじやな

いっ？

ゴーグル よくわかんないんだけどね。

ケッタ でも、すごい儲かるたをしてしょキャラクター？

カサ まあキツイですけどね。

ケッタ ダイエットが？

カサ 別にダイエットはいいんですけど、なにかその、身体引越すわけじゃないですか？

ケッタ うんうん

カサ だからその、転送していつたんですけど、記憶情報とかを移植する時に、段々バグって来る

っていつか、何回もやっつていってイマイチになっつていってよ。

ケッタ イマイチなのじゃあ（おまえも）？

カサ かなり。だって、もう元々たいてい身体だったのかよくわかんないですもん。

ケッタ あ、それじゃあ、借り物なの。

カサ 借り物ですよ。誰に借りたのかもよくわかんなくはすね。
ゴーグル え、どういふことそれ？
カサ まあダイエイトだったら、例えばじゃあ……
ケッタ ケッタ
カサ あ、ケッタさんの身体俺が預かると思いますよね？ その間、ケッタさんはチェンジカス
リープかっつてことになるんですね。
ケッタ チェンジカスリープ
カサ チェンジの場合はケッタさんに俺の身体、交換で貸すんですけど、ま、たまにバグるん
で、大体スリープなんですよ。
ゴーグル スリープってのは、完全にお休みってこと？
カサ そうですそうです。で、困ったことだ、たまにキャラクターがこの借りてる身体預かっ
たまんま返さないでいなくなっちゃう時あるんですよ。
ゴーグル ひどいな
カサ そうするこのスリープ入ってる奴は永久に起きられませんか。ひどいんですよ。
ケッタ ま、俺がそれなんですけど
え？
ケッタ え？
ゴーグル ……ダメじゃな。
カサ ダメですね。ダメっていついつにユアンス違ってるんですけど、
ゴーグル お前それ好きな
カサ そうすか……（照れ）
ゴーグル 照れるところなんだ。よくわかんねーな、お前。
ケッタ べ、なんなの？
カサ そうなる結構、大変なんですよね。俺ももう、自分誰だかわかんなくなってるじゃな
いんですか？ 返し方がないんですよ。
ケッタ え、じゃあお前じゃあ、
カサ はい？
ケッタ さっきみたいな場合を、俺スリープに入ってる、べ、おまえそのまんま逃げちゃう、っ
て言う場合を、お前、一個身体が余るじゃな。もともとのおまえの身体？ じゃあどうなっちゃう
の？
カサ それは「ムクロ」です。
カサ 「ムクロ」？
カサ そのまんま眠り続けている場合もあるし、たまになんかフラーっと起きたりもしますがど
ね。そういつ人を「ムクロ」っていつたですよ。
ゴーグル ふうん。じゃチャーちゃんとかそれなのかね？
ケッタ ああ……（ん）
カサ あの子感じいんですよね。
カサ そう？ 無視されんじゃな？
カサ そんないじゃないですよ。

ケッタ そしたらなんだ、おまえの「ムクロ」もどっかにあるわけ？

ゴーグル そっか。元は「これ」じゃないんだもんね。

カサ いや、ないんです。

ゴーグル なんで？

カサ なんか……死んじゃったんじゃないですか、多分。……よく覚えてないんですけど。ないんですよ。

ゴーグル 複雑う。

ケッタ、姿勢を少し正して、

ケッタ じゃ、お客さん紹介してあげよっか？

カサ あ、本当ですか。

ケッタ おまえさ、金あなの？

カサ ないですよ。全然。

ゴーグル やばいよね。金あな時は命あなをきただからね。

カサ そうなんすよね

ケッタ だって、全然いるよね知り合ってるし、どうしてもやせたがってる子みたいの。

ゴーグル もう全然。

カサ でも俺、身元とかはしっかりしないことせいでまなないんすよ、

ゴーグル 表のルートではっていついっしょ？

ケッタ もっていいよね。

ゴーグル うん。

カサ そっですか？

ケッタ いや、こつちもさ、身分証ない連中とか、証明されちゃうとまずいみたいなの沢山いる

から紹介できるよね？

カサ ああ……。

ゴーグル 俺らの紹介ちゃんと通さないで問題起しちゃったりすると、あのおっきの産毛さんって

カサ 産毛？ 産毛って言うんですかあの人

ケッタ ま、つつまないであげて。

カサ はい

ゴーグル 彼が一応こころへんは全部仕切ってるって言うことになってるから、

ケッタ あの人は、ホント怒らすと厄介だよ。

カサ ああ……。え、じゃあ紹介してもらってもいいんですか。

ケッタ おう。じゃ、わかったら電話するからさ。電話とか、あんでしょ。

カサ え、ああ、ありますあります。

ケッタ携帯をゴーグルに渡す。

「Google携帯を取って、自分の番号を打つ。」

ケッタ　ちよつと経費がかかるけどどう？

カサ　あ、金取るんですか？

ケッタ　そりゃな。

カサ　ええー。

ケッタ　別にじゃあいいけど勝手に一人でもやって。でもまあ危ねえと思つよ。

ゴーグル　ま、勝手っちゃ勝手だけどね。

カサ　わかりましたよ。そんな言い方しなくてもいいじゃないですか。

ケッタ　いや俺らもそんな無理に金取りたくないし。善意でやってるからさ。

ゴーグル　そうおまえなんか面白からさ、じゃなかったらやんないよね普通。

ケッタ　面倒臭いしな、やめよつか？

カサ　お願いしますよ、じゃあ。じゃあね、本当。

ケッタ　いや、いいんだけど。じゃあ、前払ってどう？

カサ　あ、いい、あ、いいですよ。

さっそへ金の受渡しをするケッタ。

ゴーグル　ほら番号入れたから登録してごい、

カサ　はい、あの

ゴーグル　Googleでいいよ、Google。

カサ　はい、ありがとうございます。

ゴーグル　お、とりあえず金俺が預かってあげよ。

ケッタ　いいよ俺が持っているから。

ゴーグル　いやいや俺がもつてあげよう。

ケッタ　あ？ 何信用してなの？

ゴーグル　そうじゃなくけど……。じゃあ、どうよ。

お別れを言ってる人解散する。Googleがいなくなる。

ケッタ　なんだよ

カサ…寄り道

「Michaelの曲がかかぬ。」

カサ　お、Michaelジャクソン。

ケッタ　わかるの？

カサ あ、なんとなく。そんなファンとかじゃなくはよ。
ケッタ マイケルはいいよな。
カサ あ、好きなんですか？
ケッタ 嫌いな？
カサ いや、嫌いじゃないですよ。ま、たまに聞きますよ。ていうか、結構好きですね。うん、ファンクラブです。
ケッタ え
カサ 言い過ぎましたね。
ケッタ だよな。いや、四五六さんすい好きだったんだよ。晩年はなんかいろいろいわれちゃったけどその子供になんかいたずらしたとか？
カサ あれはまずいっすよなね。
ケッタ そう？ じゃあ、子供を好きなマイケルを好きな俺もまずいかな。
カサ それはまずくないっすよ。
ケッタ マイケルはだって、バイオリンだよ。だってお前、黒人から白人になっちまった奴なんていないからね。
カサ あれ笑いましたね
ケッタ 俺は笑ってねえけどな
カサ ……………。
カサ ……四五六さんも「ハハハ」マイケルが最初にそいつ、皮膚とか髪の毛とか、そいつ身体だって自由に動かせることが出来るってのを証明したんだっていつか面白そうな人ですね。
ケッタ 四五六さん？ すげえ面白かったよ。あの人がなくなってから全然ダメだよ。
カサ ダメなんですか。
ケッタ いつまでいても変らんねえからな、クズばっかで。だから俺、金貯まったら女だけ連れて出よう。
カサ 女。モニそつですもんね。
ケッタ モニとかそついつんじゃねえよ。回言ってただよ。俺はモニねえよ。モニる……………うん。
カサ え、彼女ってさっきの中いました？
ケッタ なんかあの後からチヨロって来たやつ。
カサ ああ……………なんか病院行くとか言ってた？
ケッタ そつそつ。あれ、なんで病院なんか行くんだろつな。
カサ どっか悪いんですかね。
ケッタ なんだろうな。それよりおまえ、メガネから連絡あっても出なくていいよ。
カサ え。ゴーグルさん？
ケッタ 何がゴーグルだつての。笑わせんなよな？ 虫眼鏡みたいなツラしやがって。
カサ え、そつなんですか。
ケッタ ていうか、出んなよ。俺がちゃんと連絡するから。わかった？
カサ はあ。じゃ、なんでもさっきゴーグルさん？ に番聞いとけとか言ってたんですか。

ケッタ ああいつとけば、自分に連絡来るまでは話進まないと思うだろ。メガネワールドではその間に俺がちゃんと紹介してやるからな。

カサ あ

-googleが戻ってきている。携帯電話を持って。

-google お前名前なんていつんだっけ？

カサ え？

-googlemen ごめんごめんごめん、登録しようと思ったんだけど

ケッタ あ、聞いてねえな

カサ ……カサです。

照明変化足元。音乗り換え。もしはにじくおひするが、おひする。

カラオケジャック：12

自転車で帰ったほうがいいかな？ ケッタ、google二人とも自転車かな？

カサ：疲れる

チーが入ってきている。二人後ろに移動して。

カサ やっぱ知らない人ばかりだと疲れるな。

チー (イエス)

カサ な。チーは誰か仲いい人いんの？

チー (うん)

カサ 誰？

チー ジェット。

カサ ふっん、いい人なんだ？

チー (うん、カサは誰かいないの？)

カサ 俺？これから作るのかな。

チー ……がんばれ！

カサ 何それ「がんばれ」って？ 可愛いしもりり？

場転。

経過

経過：医学のイ

ハッチ え？ ああ。うん。あたし？

ヤブ あくまで臨時の避難先だけど、女だしな、ここに入れとくことはできるよ。

ヤブ、ハッチのお腹を差し示す。

ハッチ 頭を？

ヤブ やめな？

ジエット えー。

ハッチ やっぱ大変？

ヤブ まあ、それなりにね。男でしょ？ 脳の大きさが大体1400だから、6、7カ月の胎

児ってところかな。

ハッチ 結構重いね

ヤブ、にやにやして語る。

ハッチ なに？

ヤブ いや、最高のインプラントだな、と思つて。

ハッチ やめてよ

ヤブ 何かにならうとして身体改造するやつには最近興味でねえからな。考えたら面白そうだな。インプラントなんだつたつたって結局誰かの真似しているだけじゃしょうがねえ

からな。あ、そうだ。ーっだけ問題あるわ。これ重要なんだけど、

ハッチ うん。

ヤブ ちよつとあちこちいじっちゃうから、妊娠とかなくなるけど、いっ？

ジエット そうなの？

ハッチ 危ね。それ先に言つたよ。

ヤブ じゃ、やめよう？

ハッチ 考えまじつ。ごめん。

ヤブ いっけい、病院入れとくとめっちゃくちゃ金かかるよ。

ハッチ 大丈夫。お金はあるから。ごめん。考えまじつ。

ハッチ、ジエットはは。メニロン登場。

メニロン 妊娠とかなくなるの？

ヤブ うっせつたほつがチンションめがるかなと思つて。

メニロン うわ。じゃ、何、嘘なの？

ヤブ 本当にかなくなるのやっせつてもいいよ。

メニロン わんわん？

ヤブ だって、そつう話でオッケーもらうわけだから。

メニコン 医者としてどうなのそれ。
ヤブ そりゃ医者としてはないんだけど、シアールコンダクターとしてありだろ。
メニコン ありえねー

経過：ヒカリ・ハッチ

ハッチとヒカリが喋っている。電話。

ハッチ やっぱそう思うっ？

ヒカリ 当たり前じゃん。そんなの絶対やんなくてもいいことじゃない？

ハッチ だって……。

ヒカリ ダメダメ。

ハッチ うーん……。

ヒカリ 教えてあげるとね、きれいに言ってしまう場所ってのは一通りしかないの。

ハッチ 何？

ヒカリ 一つはお金も愛情もお腹一杯、一先ずは飢えてないって場合。あんたの場合はこっちな

わけないでしょ？

ハッチ もうーっは？

ヒカリ 行き過ぎた自己嫌悪の裏返し。

ハッチ そんなじゃないよ。

ヒカリ 自分の体切り売りしたってしょうがないんだから。やめなよ。

甘栗 ただいま

ヒカリ おかえり。

ハッチ いいよ、もう。じゃあ自分で考えなよ。

ヒカリ うん。まあ、そう。自分で考えないとね。

ハッチ じゃあ、ありがっじ。

ヒカリ うえい、うえい、ちんぽお力になわす……。

ハッチとの電話を終える。甘栗、部屋に入る。

経過：ホタテ

甘栗 誰？

ヒカリ ハッチ。

甘栗 ふうん。……あーあ、疲れた。

ヒカリ 占いて儲かるの？

甘栗 儲かったらこんなトコロで二人喜ばないでしようが。

ヒカリ そっか。

と、いってヒカリ。甘栗にホタテ干物の袋を渡す。

ヒカリ はいじゃ。

甘栗 何これ？ ええ、嘘。これちよつといいホタテじゃない？

ヒカリ あげる。北海道のやつなんだって。

甘栗 なに、どうしたのこれ？

ヒカリ え、プレゼント？ ほら、いい子だからさあだし。

甘栗 ありがとう。

ヒカリ 別にいいよ、ついでに買ったただだから。

甘栗 何のついで？ ていうかあんだ外出たの？

ヒカリ ま、たまには日の光浴びないとさ。ほら、光合成で生きてっからあだし。

甘栗 偉いじゃない。……ヒカリはね、

ヒカリ うん

甘栗 親は知ってるの？ あんたがこじこじること。

ヒカリ え、なんで？ 知らないんじゃない。つーか、病院抜け出してきたっからね。

甘栗 なにあんた病院入ってたの？

ヒカリ うん。おいし〜？

甘栗 おいし〜

ヒカリ ホラ、あたし上がり下がり烈しいからさ、ものす〜い下がってる時があつて、なんもし

ないでポーっとしてたら病院入れられた。

甘栗 ポーっとしてただけ？

ヒカリ もう限度なくポーっとしてたから

甘栗 今みたいこ〜？

ヒカリ 今みたいに。そうかもね。

甘栗 ダメじゃない。抜けてきちゃ。

ヒカリ いやあんなこといたらますますおかしくなんな〜と思って。せまいし。遊べないし。こ〜う……

小刻みに脚をカツカツと地面に打ちつける。

ヒカリ なつちやっつて。やばいなじゃはこじ出ないと、こ〜と思って。

甘栗 親ごさん捜してんじゃなの？

ヒカリ 捜してないよ。

甘栗 なんでわかんぬよ。

ヒカリ だって、入院したい、3ヶ月ぐらいしてただけぞ、

甘栗 うん。

ヒカリ 入院するときは一緒に来てくれただけで、あと一回も来てないから。忙しいんじゃない。

甘栗
歯が痛い。
複雑ね。

ヒカリ
いや、シンプルでしょ。産んでおらうってありがとっ、じゃねーみたいな。ホント痛い。

甘栗
そっつうもんじゃないっしょっ親やっつ。

ヒカリ
どっつうもんなの？

甘栗
……わかんないけど。

ヒカリ
わかんないんだ。

甘栗
ほら、あたしは親とかいないからわ。

ヒカリ
そっつうなの？

甘栗
うん。

ヒカリ
……。

甘栗
あんた子供欲しくない？

ヒカリ
は？ なんで？

甘栗
うけるなと思っつ。いきなり産んだら。

ヒカリ
欲しくない

甘栗
ずっと欲しくないの？ 全然。

ヒカリ
うん。なに欲しいの？

甘栗
欲しい。

ヒカリ
ふーん。

甘栗
……一人だしねっつ。

ヒカリ
……。

甘栗
子供できたらバレエやらんっつかと思っつてたア

ヒカリ
なんでバレエ？

甘栗
足が長くなりそっつじゃない、なんか。

ヒカリ
あたしバレエやっつたよ。

甘栗、ヒカリの足の長さをちらっつ観察っつ。

甘栗
じゃ、バレエはやめっつ。

ヒカリ
なんでっつ……。

甘栗
んーもっつわかんならっつ。どっかへキレイな女をっつるの。

ヒカリ
すねっつ。

甘栗
だから子供産みなさっつ、ホロっつ。

ヒカリ
あたしの子供育てるわっつ。

甘栗
あたしはだっつ、っつ師だから。

ヒカリ
なにっつ師は子供産んじゃいけなの？

甘栗
っつっつっつっつ。

ヒカリ
え、っつっつっつっつ？ ダメなの？

甘栗 ハア……。産んでもいいのキャ……。(落ち込む)
ヒカリ なんなのそれ。

甘栗 痛そうじゃないなんか。痛いの大嫌いだから。

ヒカリ あそう。でもアタシは産まないから。

甘栗 歯医者行く？

ヒカリ 行かない。お金ないよ。

甘栗 お金は別にあるの、アタシはアタシの金があるよ。

ヒカリ 行かない。

甘栗 でも治らないよ、それは。

ヒカリ 行かない。

甘栗 じゃどうするのよ。

ヒカリ 知らない

甘栗 あんたさ、

ヒカリ うん。

甘栗 ……なんでもない。

ヒカリ 何

甘栗移動。

ヒカリ ……何。

甘栗 なんかに盗人した？

ヒカリ はい？

甘栗 盗んだ？

ヒカリ なんで？ え、なんでそんなこと聞くの？

甘栗 盗んだ感じでしたから。

ヒカリ なんでよ。

甘栗 そういつあれがあつてさ、ハッチちゃんとか、ジェットちゃんとか友だちと上手いかなくなくなつてんじゃないの？

ヒカリ あんなの友だちじゃないよ。

甘栗 友だちじゃないの？

ヒカリ もういつかな、っ。面倒くわさう。

甘栗 あんたが面倒くわさうしたの？

ヒカリ 別に。流れで？ 心配するようじゃないよ。

甘栗 なんにも心配するようじゃないの？

ヒカリ うん

甘栗 なんにも？

ヒカリ 大丈夫

間。

ヒカリ 別に。いや、盗んだとかじゃなくって
甘栗 とったの？

ヒカリ なんかいらなそうだったから、もらってあげた？

甘栗 あんたもらったのが。

ヒカリ うん。そんな感じ。

甘栗 ちゃんと返してきな。

ヒカリ なんで

甘栗 ダメだよ返さなさいってねほ。

ヒカリ 別にいいじゃん。

甘栗 大丈夫だよ。

ヒカリ 何がよ？

甘栗 一緒に、いっしょにこよう。

ヒカリ 別にいっしょ来なくて。頼んでこよう。

間。

ヒカリ じゃ、返してこようよ。あの机の引き出しに入ってるからそれ、

甘栗 一緒に行かなさうダメだよ。

ヒカリ なんでこようよ。

甘栗 じゃ、かえってこようよ？

ヒカリ うん

甘栗 ほんとて？

ヒカリ ベンツにいらなう

甘栗 ヒカリが取ったから戻してこいって返すよ。

ヒカリ なんだから、別にどってないの。だからなんか、もらった……、いらなそうだったか
らもらってあげただけだよ、あては別にならなうって強いてこいって来たわけじゃないのね。

甘栗 じゃ、それどいから、それを言おまをちやちや言ひよ。

ヒカリ じゃいっよ、返してきてこようよ。

甘栗 それだったら簡単よこよ。

ヒカリ だからいっよ返してこいよ。

甘栗 じゃ、返してくるよ。ヒカリがそいってましたって。

ヒカリ じゃ、いっよねね。

甘栗 じゃ、返してこいよ。

ヒカリ うん。もう、寝よ。

甘栗 うん。

ヒカリ おやすみ

甘栗 おやすみ。アナコング。
ヒカリ あたしのことぞね？
甘栗 気分気分。

Work

Work:ケッターメニコンジーンヒント

上のセリフをいっながら携帯を準備している。

曲 in

カサ はい。

ケッタ 見つけた見つけた。どうしてよせたいってごう女のち。

カサ あ、本当ですか。

ケッタ おう。ほら、こないだちょっと顔あわせてるんだけど覚えてないかな、メニコンでどう、ちよっつッカフカした感じのち。

カサ フカフカ。んー。会えばわかるんじゃないすかね。

ケッタ だな。それじゃ、22時にこないだの所で待ってしよ。向いしておまえの番号教えてくからね。

カサ はい、

ケッタ どうどう、相手の女のちもすごい不安みたいだからね、安心をこめてあげようとする。

カサ はい。あしがどういかに共々。

ケッタ よろしくなマ、っしんまおしんちにはじわでオッケーよ。

キュー どういかにいよ。

ケッタ いじらば俺の話もめこつてもらおうかと思って。いじちも本格的に動き出すじやないか

キュー ぶんぶん。ん？

ケッタ これをこの道への最後の仕事にしようかと思っしね。

キュー 最後だから何？

ケッタ どうせ最後だから両方から仲介手数料もらってやるうか。うまみのある取引だろ？

メニコン えー。

ケッタ えーってことねえだろ、儲け話だよ。

メニコン あんだロクな話持つてこないからなー。

ケッタ そんなじやねえっし。

メニコン せめて「ありがどう」と言ってもらえる仕事がいいね。最低限。

ケッタ いじらばいよ。儲け？ 持ちたいよね。

メニコン うん

ケッタ 「ありがとう」ななて縁のない言葉だらう？

メニコン 全くな。

ケッタ どうしてもななて言われる？

メニコン 「騙されてたじゃないのロコ」「ごまごま違いますよそんな……」「騙されてたじゃないの」
ケッタ そんな仕事の後、おまえななてどうなの。

メニコン 「絶対騙してなんかないですよってきこって喜んだだけですよげんくマノロコオコッー！……」
ケッタ ……「どうよオコッー！」

ケッタ 持ちたいよね、誇り。

メニコン うん

ケッタ そんな君に絶好のお仕事だ。

シエット登場。

メニコン え、何々？

ケッタ だから……………

シエット 童貞クンの筆下ろし？

ケッタ 二二だけの話、おまえを二指名なんだよ。

メニコン ……ふうん。

ケッタ あの人すっげえかわいいですねえ、二二か二二してね。やるだらう？

メニコン ワカタヨ。ヤルヨヤル。オカネイクラ？

ケッタ 50万秒。

メニコン 結構モラエルネ。

ケッタ だろ。二二二二二二、仲介料をちこつて。前払いで。

メニコン ハイハイハイハイ、10万秒。

二二二二二二、ケッタは去る？

メニコン ていう話があったんですけど、代わってもらえませんか？

シエット えー。

メニコン お願いしますよ、なんつっても今のあたしには無理な話なんで。非常に。厳しい。

シエット 何がよ。

メニコン あそこのが穴ふさいじゃったんですよ。

シエット ふさいだ？

メニコン 縫っちゃったんです。へたーって。

シエット 糸で？

メニコン ううん。

シエット 何？

メニコン ピアッシング。

ジエット やーだーもう、ちょっとあんたったら、変態。

メニコン まだやったばっかだから臆んじゃって。だってヤブがさ。

ジエット わかった。あんま、生々しい話はいから。了解した。

メニコン オンニキルヨ。チュウカイリヨウはアタシハラットイタカラ。30万。

ジエット あ、そんなに？

メニコン デモ無理言ッテルシー5万でイイヨ。アタシ半分持ッヨ。で、このだけの話、ジエットさん御指名なんだって。

ジエット え、知ってる人？

メニコン ほら、この前ちよろっと見ただろおまえも、カサ君。「あの人はマジでヤバイですね」メロメロ」とかいってたらしいすよ

ジエット そう。ガブガブガブ、15万秒。

Work: ジエット・カサ

坐っているカサ。そこにジエットがやって来る。

カサ いやあ、緊張するね。俺、久しぶりにキャラクターの仕事だよ。チーは何か仕事やってんの？

チー (うん)

カサ へー、何やってんの？

チー (働いてるってほぐスライム)。

カサ ああ……。大きな……。クマを……。パソコンに閉じ込める仕事か！

チー (どんなやねん！)

カサ 一生懸命働いてるじよはわかった。あー、じよ。へんなちやちやにならじよ。真面目にやるんだからな。

チー (はははは)

カサ ま、こぼらへん会えなうと思っはじよ、またあつたら仲見っこせしよ。

チー (うんうん)。

カサ それまてには名前思っ出さじよ？何、まじ思っ出した？

チー (うん、まじわかつた)。

カサ 嘘つけ。

チー 四五六。

音。

カサ 四五六？ あ、俺？ 違っはじよそれ。あ、あ、来た。おまえ、ちよっぴっか行ってホフ。仕事仕事。

と、そこにジエット登場。ジエットが見つかる前にチー、さっとはげる。

ジエット カサ君だよわね？

カサ そう、ただけでしょ……やせしてるね。

ジエット ありがとう。

カサ うん……。あれ後から来るの？

ジエット え？

カサ メニコンさん？

ジエット ううん、ジエット。よしよしね。

カサ ああ、よしよし。

ジエット坐る。

カサ ふうん。ああ、ここのうのもあり。初めてだ。

ジエット やっぱ、初めてなの？ 忘れられない思い出にしてあげろ。

カサ いやいや結構♪テラソだよ。安心して。

ジエット 目が怖い

カサ 久しぶりで

ジエット うん、お手柔らかに。ってどなたへらい話決まってるのかな？

カサ あ、あ、どっちかって？ チェンジかスリープかって？

ジエット あ、チェンジとかするの？

カサ え。俺はどっちでもいけるけど。ジエットさん決めてよ。

ジエット あたしはそりゃチェンジなして行きたいけど。そっちがよければ。

カサ そう。わかってるのかな？ スリープってのは俺がそのジエットさんの中に入って仕事

してる間は、ジエットさんは眠ってる状態なんだけど……

ジエット うんうん。そうです言ってるね

カサ 大丈夫？

ジエット あたしがあんまり積極的に動かないほうがいいってことよ。

カサ うん。うん？

ジエット マグロ好き。

カサ マグロ？

ジエット すきでしょ？

カサ いいねえ。つけまべるとかね。

ジエット ん？

カサ じゃ、スリープってことね？

ジエット 寝るの？

カサ 寝る寝る。なにになになに。大丈夫？

ジエット 大丈夫大丈夫。

カサ　でもそんなにやせてるとなァ

ジエット　あ、何、もしかして丰满な人がタイプだった？ ごめん。

カサ　俺は、むしろいいんだけど、あんまりやせてる人は経験ないし……

ジエット　じゃ、いつもはそっち、その、デ、デブ専……

カサ　ま、仕事だからね。

ジエット　仕事か。ごめん。ご期待に添えず。

カサ　むしろいいんだけど、うーん、あんまりやると……死んじゃうよ。

ジエット　すっぴい自信だねびっぺり。

カサ　いや、だってやりすぎると死ぬよほんとに。

ジエット　（ズーンと来いよ、のジエスチャー）死にません。むしろ殺してって何言わすのもオ。

ジエット照れ笑い。

カサ　はあ？ おたくでしょ、依頼したのは？

ジエット　あたしあたし、ん？ 依頼？

カサ　んー。ホントに意味……、スリープでいいの？

ジエット　チエンジにすんぬ？

カサ　だから俺はどっちでもいいんだけど、

ジエット　だからあたしもどっちでもいいんだって。

カサ　じゃあ、スリープね？

ジエット　うん、寝るのね。

カサ　ヤア。

ジエット　じゃ、もう行いじつオ。

カサ　どうして？

ジエット　え、ホテルじゃダメ？ あたし野外とかはちょっと……。

カサ　あ、いや、ん？ あ、ホテル、ん？ おや？

ジエット　もういいじゃん。あとまあ、やってみてっぺんひや。

カサ　じゃあ、あの、身体その相性を見めっぺん言っぺんいっぺんだ……オ、お、お、

ジエット　殺さない程度でオ。

カサ　あ、いや、いっぺんいっぺん。お願いします。

Work…ハッチの仕事

カサ、ジエット一回はオ。

場転しい、

キュー　っぺんいっぺんも話がかみ合わないと思ったら、あんたのセッティングがめっちゃくちゃなんじやなッ。

ケッタ
ケッタ
キュー
ケッタ
ケッタ
キュー
ケッタ
ケッタ
ケッタ
ケッタ
キュー
ケッタ
ケッタ

こんなんにするつもりはなかったんだけどねエ
誤算だったわけか君にとっても
そりゃそうだよ。シエットさん産毛さんのあれなんだからやばいだよ。
そっかそっか。

ケッタ
ケッタ
キュー
ケッタ
ケッタ
ケッタ
ケッタ
ケッタ
キュー

厄介なんだって。
でももっと厄介なことが始まってんじゃないそんそん。
え？

じゃ、ここでもう一回仮にパイプと呼ぶことにした彼の話にもどろうか。
もう死んだんじゃないの？

いやいやそれがそつでもなへっこね。

まだ死んではないんだけどかなりやばい状況。

だから何？

だから一緒にどこか行へとかはとりあえず、無理。

なんで関係ねえだろそんなの。

バラバラにしたのアンタじゃん。

え？ そつだけど……

アンタとあたし関係ないの？

そんなことだってねえだろ……そりゃ関係あるけどさ。だからってお前になんかできるわけ？

そりゃごらごらごらごらごつし質問はあはあ。

……わかんないけど。

なんか最近変わったな、お前。

そう？ あんま寝てないから。毎晩パイプ君のおしゃべりに付き合ってたからね。

ハッチ

パイプ登場。

パイプ
ハッチ
パイプ
ハッチ
パイプ
ハッチ
パイプ
ハッチ

やっぱり妊娠できなくなるんじゃないや残念かな？

んー。

これ信じてもらえないと思うんだけど、俺、誰もが経験してるしよや思ったことない
とがあって、

何？

誕生

誕生してなかったらここにいないでしょうが。

だから誕生だけは飛び級でやったんだけど、母親のお腹の中、べ、はびたでもひったいて
がないんだ。

ハッチ
パイプ
ハッチ
パイプ
ハッチ
パイプ
ハッチ

んなわけないで、しゃ、しゃ、んなで生まれるのよ。

なんてっ……、……、生まれるのだから仕方ないで、

あたしがあなたを孕ませの？

パイプ ふぶちり奢ってあげたじゃない。
ハッチ あんなものべらこさ。
パイプ 初めてなんて嘘までいっし。
ハッチ それはごめんだけべ、そんなに重大なことじゃ、
パイプ 自分を利用する奴は信用できる、ってね。
ハッチ は？
パイプ 欲得もないのおじっついる奴なんかを信用した君も無用心だったんだよ。
ハッチ じゃあ、返す、お金もふぶちりも返すから
パイプ ……俺はこの道を見届けていたんだ。君の中で
ハッチ なんであたしがそんなことしなくちゃ行けないの？ 気持悪い。
パイプ しなくちゃいけないことなんて何もないだろ。君の人生で。
ハッチ ……なにそれ。
パイプ みんなハッチの自由だよ。あくまでこれはお願いなんだから。だけど、本気のお願い。
ハッチ 俺が君にあげられるものは何もお金ばかりじゃない。
パイプ 俺の頭に埋め込まれてるインプリントはこの道を運搬するために欠く事のできない動力源なんだ。裏表に刻まれた希望と絶望のインプリント。
ハッチ だから何？
パイプ だから君は手にするじじいがびびるよ。この道での確固たる居場所と理由を。
ハッチ 別に今だっつてあるぢやそんなもの。
ケッタ じゃ、もういいよ、好きにするよ。せっかく人が金用意したっていうのよ
ハッチ そんなじじ頼むでなごらじじ別じ。

ヤブ、登場。

ヤブ じゃ、やめぬか？
ハッチ いや、やりませう。お願いします。
ヤブ 本当にこのね？(おか井)
ハッチ 誰ですか
ヤブ ま、怖い顔。本当にこのね？
ハッチ はい。
ヤブ よし、じゃあお出発じじっ。

Work…mistake

ジヒット、カサ再登場。

ジヒット 書いぬー、

カサ なあ、暑くないね。
ジェット そんな急いで服着なきゃ良かったのに。
カサ ごめんなんか裸でいるの落ち着かなくて。
ジェット ははは。
カサ へん？
ジェット いいんじゃない。前付き合ってた人が同じことだった。
カサ あ、それピチヨンくんじゃない？ ちょっと見せし。
ジェット え？

ジェットのピチスレットを見せてしまおう。ジェット、ティアードロップ型のチャームの着いたピチスレットをこぼさぬ。

カサ 超かわいいピチヨン君だ。
ジェット ピチヨン君じゃないから
カサ まだ持ってきてくれたんだ。
ジェット え？
カサ あれ？ ごめん。俺あげなかったっけ？
ジェット うええ
カサ ああ……。なんかピチヨン君好きなんだよね。
ジェット ふうん。……。どうか、ななこっついの？……やり方も似てるんだよね前付き合ってた人
と。

カサ ん。ええー！
ジェット や、あんたがな
カサ やめてよ、ええ？ 照れくさいな。
ジェット もじゅっつ前の話だけばね。
カサ じゅっつ前？
ジェット もうわかんないべし。その頃はまだあたしもこの身体じゃなかったしね。
カサ え？ じゅっつ前。
ジェット いや、あたし「キャラクター」やってっから。元々は別の身体なんだ。
カサ あ、そうなの。ええ？ ん？ あれ？

ジェット じゃあ、の。(金お)。
カサ は？
ジェット え、は、じゃなくてお金。
カサ え、え、え？ 金ないよ俺。
ジェット え、ちよっつひびきけなごま。
カサ ん？ いや、だから俺、キャラクターでしょ？ わか、わかっている？
ジェット え？ あんたが。

カサ そっついの。だっついの俺、そらささめはねのん仕事っつひ。お。お。おっつひもせたい女のそが

るからって、ケッタくんを紹介されて

ジェット ん？ ん？ それがあたしの？

カサ じゃないの？

ジェット 違うよ。

カサ え？ で、その前に身体の相性をみたいうつう？ ええ、ダイエットしたくないの？

ジェット したいわけないじゃな。

カサ なんなんだよ意味全然わかんないよ。

ジェット え、お金本当じゃないのじゃあ？

カサ あるわけないじゃな。金稼いでみたから。

ジェット じゃ、あたしはいつなっちゃうの？ さぬいさっしゅんめ

カサ 「死ぬー」とかいつたへせに

ジェット それはあんたが、そういついついつたほつが……、サーブスの一環でしょ。どうなつてんの話違うじゃな。

Work:「トータル死す」

メニコン登場。

メニコン いや、あたしもそういう話だとは聞いてなかったんだけど、

カサ あんたなんか聞いてないの？

ゴーグル 知らないよ。全部ケッタがやってたわけだからな。

ジェット どうでもいいけど、このまんまじゃ収まりつかないでしょ。どういこと？ ケッタ。

ケッタ いや、俺はメニコンにはちゃんと……、おまえが御指名受けてるんだからって

ジェット ハア？ そうなの。

メニコン あたしのせいじゃないよ。

ケッタ おまえが勝手に人に振るからいけないんだろ。

メニコン でもあたしが行ってたって別になんの解決にもなってないじゃん。

カサ そりゃそうだ。

メニコン でしょ？

産毛 あなの

みんな黙る。

産毛 おまえ人の女なんだと思っただよ。

カサ いや、そういついついじゃなごすはけよ。

産毛 おまえじゃねえよ。ごうじだよ。

ケッタ そういついついもりじゃなごすはけよ、メニコンが……

産毛 うんせえな。

ケッタ あ？

産毛 喋るなよむかつくから。

ケッタ ……。

産毛 「じめなもじ消えいへたねじつからじ〜」

ケッタ いわれなくとも出へんよ。

産毛 なに？

ケッタ 大体、四五六さんがいなくなつてから興味ないしさ。あの人の代わりにおまえって言うんじゃ終わってんだろこども。つか、シエッタさんだつて俺は今でも四五六さんの女だと思つてるからね。だからせうじつ意味で謝ります。「じめななご。」

産毛、ケッタ掴み合い。一瞬つかみ合つて、引離される。とつこのを何度か繰り返して、次第にそれは踊りになる。

カサ じゃ、やるだけやっつてくれさ〜よー

曲二。ダンス。

と、そこへ甘栗登場。

甘栗 返しに来たー！ー これー！

メニコン え？ あ、あたしのだ。

甘栗 ヒカリがこれ取つたから返しに来た！「じめなー」

ゴーグル 誰このおぼさか

メニコン いいよこんなもの。安物だからいらなごよ、めげぬ。

甘栗 いや、ちやんと聞こせよせうかかめの子だつて決心して返してやるよじつこつてくれた

ゴーグル 本人がいらないつていってんだからじ。さうじつ話じゃねえんだよ。な。

甘栗 そつじつ言い方なごよごよ

メニコン ああ、はいはいありがじつ。

メニコン ネットレスを受け取る。

ゴーグル じゃあ、もう帰れよほら、

ゴーグル 自転車でその場を離れる。

甘栗 なによー！

ゴーグル いったえな、このカバ

甘栗 カバ……。なんだこのー！

ゴーグル、自転車（なるべく漕がないで銃声以後は惰性で進む）で半月を描くようにして
スーと旋回し、転倒。苦しむ。
ゴーグル血を吐く。

産毛 ああっ！… ちょっとてめえ何すんだよ。ひでえことしやがって。

甘栗 ええ！ ああ……ごめんなさい。あれ？ あたし……

産毛 ケッタ、ヤブ、呼んでごいヤブ！

ケッタ はい

カサ こけただけじゃないんすか？ こけただけじゃないんすか？ え、だって血、吐いてる
のおかしくないですか？ あれ？ ちょっと大丈夫すか？ ゴーグルさん！ ゴーグ
ルさん！

甘栗 あたしが栗なんか投げたから……！ ごめんなさい！

産毛 あ、ごいごいジユウウ風おいてなさいな。

カサ え？ え？

産毛 いや、金が……。

カサ どいごいごいおますか

産毛 とりあえず、死んだ……。

音楽が大きくなって場転。その音をうつつすらと残したままで次の語りへ。

【3】 記憶と問いつかけ

袋小路

袋小路：取り調べ2

ケッタ その後、ヤブさんと一緒に帰ってきたんだけど
キユー 時すでに遅し。

ケッタ あいつがそんなに時間失ってるとは思わなかったから。だって何にも言わないんだもの。
キユー 信用してなかったんじゃないのあんたを

ケッタ かもな。自分をちゃんと利用してへる奴はむしろ信用できる。っていつも教えてやって
ただだけどな。

キユー じゃ、誰も彼を利用しなかった、ってことだ
ケッタ いや、したよ。死んじゃってからのだけど。利用はした。

再び、取調べの場。

お役所 で、なに、こいつが犯人ということになったからおとし前つけましたってことだいいの
かな？

産毛 そつですけむ。

お役所 ー、なんかこれ犯人を裁いたって言うより、全然新たな殺人が起こっちゃってる感じ
がするんだだけむ……、どつなのその辺は？

産毛 いや、違いますよ。

お役所 誰をかばってるんだかわかんないけどむ。

産毛 かばってなんかいません。事実です。

お役所 ま、いいんだだけむね、どつちやせ。

産毛 あ？

お役所 俺も解任だから。昇進だよ昇進。こんな場末の地域管理はもうやらんでもいいんだって
よ。

産毛 はあ

お役所 ま、じゃ君もがなびつてくれよ。仕切ってるだろこいつ
産毛 いや……、

お役所 あれ、違つもの？

産毛 そんなはもう俺もやめますわ。

お役所 だそうなんで、あとよろしく御願っています。

キユー 了解了解。短い間だったけどご苦労さん。

お役所 まだ続けるんですか、1111の管理？
キュー そりゃあ当然でしょ。

お役所 勿体無い。その気になれば絶対昇進できますよ、あなた。なんなら僕が紹介しよう
か？

キュー 好きでやってんだからほっといて。

お役所 そうなんですか？

キュー うん。だってあたしがこの道を作ったんだもん。

お役所 え？

ケッタ そうなの？

キュー そう！ さあ、それじゃいよいよ最後に始めるのがあたしの話。第3章は時間がないの

でタイトルは省略。3度、パイプと呼ばれた彼の話の続きにもとらうか。

SE、水滴音。

袋小路：手術

ケッタ おう、メニコン、ヤブさんなの。

メニコン 今手術中ですよ。

ケッタ え、誰の？

メニコン 秘密ですよ。

ケッタ それいついついて来たの？ いつから出せやヤブさん。

メニコン まだ、もう少しですからって、はっ！ 「手術中」の明りが消えた！

ケッタ どう？

ヤブ、ハッチ登場。登場の音楽。

ヤブ っはー、疲れた。長い手術だったわア

メニコン おつかれサア

ヤブ ま、そんなに気が狂いしないでしょけど、多少は、気っ使って（お腹）。

ハッチ はい。

ケッタ なにやってんのおまえ？

ハッチ 別に。

ケッタ 手術？ え、おまえどっか悪いの？

ヤブ あれ言っていないの？ ……今ココに新しい命が宿っています！

ケッタ はあ？ おまえ、なんだ全然聞いてないよそんなの。

ハッチ 自分が聞かなかったでしょ。

ケッタ おめでしょ。

ハッチ え？

ケッタ だって俺の子だらう？

ハッチ そう、に決まってるじゃん。

ケッタ だよな。びっくりをせんなよ。

ハッチ ごめなね。

メニコン いやいや違う違う違う。……あなたすぐばれる嘘つかない。

ハッチ つい……

ケッタ 何が？

メニコン あの、大人の男。の、脳髓。ですから。

ケッタ 何それどういう意味？

ヤブ ま、いいじゃないかー！ 1人の人間の命が助かったわけだから。ギリギリセーフって感じだったな。

ケッタ よくねえ、全然よくねえよ。おいおい、なんだよそれどういことだよあいつの？

ハッチ もついでしょ。自分で考えて自分で決めたことだから。

ケッタ なんだよそれ。

ヤブ ま、理解してやってくれ。かっこいいインプラントを埋め込んだ新しい君の恋人を。できるわけねえだらう理解なごい。

ハッチ いいよもつ。また会おう。

ケッタ え？

ハッチ あんたも暫くはこの道にのめりなごい。あたしも当分はここに居るからさ。また、ね。

ケッタ残される。

ヤブ じゅん、スミ、怒ってん？

ケッタ じゅん……

ケッタはけ。

ヤブ おつじはつじせつ

ケッタ 唄うなよー！

ヤブ一回黙る。

ヤブ つも〜待たせる〜だけ〜

ガクシヤ おんな〜は〜

袋小路：運び屋

ガクシヤ登場。

ガクシヤ いつも待ちくたびれて〜
ヤブ うん、うん、うん……。あれ、どうしたの？
ガクシヤ な、原稿って本当に頼んでもいいの？
ヤブ 運び屋？ いいけど、そりゃタダじゃねえよ。
ガクシヤ いくら？
ヤブ いくら貰えるの原稿料？ それ次第だろ。
メニコン だね
ガクシヤ さあ。まあ、有名な先生だったから、結構貰えるんじゃないの、だから頼むよ。
メニコン あ、何、その先生が書いたってことにして届けるの？
ガクシヤ ……おう。
メニコン 詐欺じゃん。
ガクシヤ ー、まあ、そうかもな。詐欺かもな。
ヤブ うわー。だって、それ、お前、え？ 詐欺じゃん。
ガクシヤ 認めただろう既に。
ヤブ じゃ、ちよっぴ多めに貰わないと。0：4でいい？
ガクシヤ 俺が6？
ヤブ いやいや、俺が6でいいよ。
ガクシヤ なんてお前のほじが多いんだよ。
ヤブ じゃ、7：3でいいよ。
ガクシヤ 7は？
ヤブ 俺。
ガクシヤ 増えてるじゃねえか
ヤブ わがままだな。
メニコン じゃ、5：2にしてなよ。5：2。
ガクシヤ 5：2って……あ？ 残りの3はどっかいっちゃったんだよ。
メニコン (自分を胸に手をあてて)
ヤブ そこか。
ガクシヤ 何でおまえが俺より多いんだよ
メニコン だってお金欲しいんだもた。
ガクシヤ じゃ、わかったよ、金なとて全額へねてやるからと。とたかへいね届けへねよ。
ヤブ メールでいいじゃな。
ガクシヤ そんな無用心ができるか。
ヤブ 自分で行けよ
ガクシヤ なんだよ、この前行ってへねるって言っただろうが。
ヤブ ええー、どっしりよつかな……ちゃんとフメス風に書いたんだろうな？ ギャー。
ガクシヤ 漫画じゃない……

ガクシヤとして立つて、場所を変え、

ガクシヤ ……真面目にしていようじゃった。

ヤブ ありがとう。

メニロン おめでとう。

ヤブ やったよ。

ガクシヤ ……おまえ何の力でもこの道が移動するのかって考えたことある？

メニロン ない。

ガクシヤ そういつ研究なんだけど…興味ねえだろ。

メニロン オモソロソウ。

ガクシヤ ふん。月が二つ出る晩に移動が起る。

メニロン あと雨、降らなるとダメ。

ガクシヤ うん。そのころの条件がなんでも巡回コースの中でHissの聞いている人間が「シャッフル」される……。

メニロン うんうん

ガクシヤ 本来「ミネストローネ」ってのは、「旅」の形を分解する一つの実験だった。だから、わけわからんところに飛び込みたいっていう「旅人」がここには集ってたわけでしょ？

メニロン うんうん

ガクシヤ だけど、何回もシャッフルしていつかうちに、道のあちこちには毎回お互いをイメージするグループみたいなもんが出来てきた。俺らにしたって、そうだ。社会っていつでもいい。

メニロン だって、誰も知り合いないんじゃないじゃあねじゃん。

ガクシヤ そういつか、知っている人と一緒にいたいって思う「記憶」と、それを忘れてしまったらいつか「忘却」と、二つのいつたりきたりする力でもこの道は動いている……。

メニロン そうなの？

ガクシヤ んじゃないのかな、と思う。

ヤブ へ、そういつ話をここに纏めたわけ？

ガクシヤ そう先生の遺作。いろいろ書き上げると、いつかじゃ。

ヤブ ああ、遺言みたさのよ？

ガクシヤ 違うけど。

ヤブ 何

ガクシヤ 俺がシャッフルの時にイメージしてたのは、先生の顔だから。それとも、いつもここにたどり着く。

ヤブ それが何？

ガクシヤ 先生が居たところってのはおまじの「ト」だろ？ だからいろいろ書いていこうよなのかと思うじゃ。

メニロン ……やっぱり忠犬みたいだね。

ヤブ テレシー！

甘栗 ただいま

ヒカリ おかえり。

甘栗 ものすごい大変な、あれ、旅だった。

ヒカリ あ、そう。お疲れ様。

甘栗 うん。

ヒカリ 何が大変だったの？

甘栗 人を殺してしまったわ。

ヒカリ ええ！？ 誰を？

甘栗 なんか、メガネの人。あたしが栗なんか投げたから……。

ヒカリ 死なないでしょ、そんなんで。

甘栗 皆まで言うな。立派な犯罪よ。ああ、人殺しだ……もつ昔のあたしじゃない。

ヒカリ あ、そう。

甘栗 うん。あ、ちゃんとネックレスは返してきたよ。

ヒカリ あそう。

甘栗 うん。

ヒカリ ねえ、甘栗。

甘栗 うん？

ヒカリ ……やっぱいじや。

甘栗 あ、何、何よ。もつすごいイライラする。言っつよ。

ヒカリ あたしの時間盗もつとしたでしょ？

甘栗 してないよ。なにぞ？

ヒカリ だってこの前銀行行ったら残高3年分くらい減ってたんですけど？

甘栗 ごめん。

ヒカリ ちよっつ……、なんでそつういじやするの。あたしは本当怖いよ？ むしろ寿命縮むよ

そつういじやつてつよ。

甘栗 だってまだあんた若いし、これからの人生長そつじゃない。

ヒカリ それ目的であたし呼んだの？

甘栗 それはあれだから……ごめん。

ヒカリ あやまちあったよこの人。

甘栗 え、あやまらないでもないの？

ヒカリ 謝って。ぜひとも謝ってよ。やっぱそれが目的だったんだ。

甘栗 だって何かと一人だと面倒だしさ、お金稼ぐんでも一人のが都合いい。つってもあん

たは病気になるっちゃったからあれだけ……、ほら家事手伝ってもらったりや。

ヒカリ お手伝いロボじゃないんだから。

甘栗 ロボは高いから。

ヒカリ 人間で済ませておこうってか。
甘栗 いや、それも悪いなーと思ったから子供産んでって頼んでたでしょ。
ヒカリ 子供を使う気だったの？
甘栗 子供はほら、財産もちだからね。
ヒカリ 別にそこまで開き直らなくてもいいよ。
甘栗 じゃあ。

間。

甘栗 歯医者行く？
ヒカリ そればかり。
甘栗 だってなんか
ヒカリ 臭う？
甘栗 それもあるし、やばいと思うけどわは。
ヒカリ 行かない。
甘栗 あ、そう。
ヒカリ うん。悪いね。
甘栗 いやいけいけい、別下。
ヒカリ 甘栗。
甘栗 ん？
ヒカリ ネットレスありがとね。
甘栗 え、ああ。いいよいいよ。
ヒカリ 嬉しかった。
甘栗 うん。

間。

ヒカリ 別にあんなもの欲しかったわけじゃないんだ。
甘栗 うん……もらってあげたんだもんね。
ヒカリ そうもらってあげたの。なんかあたしでもらうものが人生全体の中で少なすぎるんじゃないかと思っつ。
甘栗 え？
ヒカリ バレエの才能とか？ 普通の、普通のなんか、普通……、いろいろ普通にやっつけていける力だとか。見えなかったんだ。ハッチとかジェットとあたしをつないでる線みたいなものが。
甘栗 道？

ヒカリ 道……。そうかもね。だからきつとそいつにあるって言う風に想像する力があればそれでよかったんじゃない？ そしたらきつとネットレスなんか盗らなくてよかった。

甘栗 ……もらってあげただけだから。

間。

甘栗 あたし考えたんだけどね、やっぱり子供は別に足長くなくてもいいかもしれない。

ヒカリ ……うん。

甘栗 それにあと、いろいろ言わば、口開けてたり、なんか入んなシリロンとか埋まってるもいいかもしれない。

ヒカリ いいかもね。

間。

ヒカリ あたしでもいい？

甘栗 いいかもしれない。

ヒカリ ね、もし甘栗が死んだらさ。

甘栗 うん。

ヒカリ 甘栗の骨をあたしの皮膚に埋め込んでもいい？

甘栗 気持ち悪くないの？

ヒカリ うん。平気。そんなに約束さうい。

甘栗 何を

ヒカリ いろいろ今の気持ちかを忘れないようにした。今のインプラントはちっちゃすぎたのかもしれないな、しるっと忘れちゃったからさ。

甘栗 あんまり大きかったら痛いよ。

ヒカリ あたしが先に死んだらさ、

甘栗 うん、え？ 何。

ヒカリ 残りの時間も上げる。あたし全然70歳になってないからさ、まだ、大分残ってるし。

甘栗 なんてあなたが死ぬのよ。親子ってさういうもんじゃないでしょう。

ヒカリ だって親子じゃないじゃん。

甘栗 似たようなもんですよ。

ヒカリ そうかもね。

甘栗 いい？ 子が親より先に死んじゃダメなの、親は子どもより先に死ぬの。親は子のために死ぬの。そう、親は子のために死ぬの！ わかった？

ヒカリ じゃあ、あたしがダメだ。

M…「じいじは赤ちゃんさ」

ヒカリ、立し。

甘栗 違う、さういふじいじはななはない。

ヒカリ ほら呼びなさい、甘栗。「お母ねえ」。
甘栗 呼ばない。絶対呼ばない。

ヒカリ なんぞ？

甘栗 だって、呼んだら死んじゃいそうなんだもん。

ヒカリ 呼ばなくても死ぬよ。これ教訓にして生きていって、「意外と虫歯は怖い」。

甘栗 アホ。

ヒカリ ほら、呼びなさい、甘栗。

甘栗 お母さん。

ヒカリはげ。

甘栗 ヒカリ！

出口

出口：酷い話だと思わない？

カサ 酷い話だと思わない？

チー (?)

カサ じこはいいところかと思っただけど嫌なところだなあ。みんな喧嘩ばっかしてキア
チー (そうでもないと思っけ?)

ジエット あんたチー知ってるの？

カサ うん。もう長い付き合いだもんな。

ジエット 嘘。

カサ じこ来て最初に知り合いになったから。

ジエット そうなの珍しいね

チー (うん)

ジエット 人見知りのへせじ。

カサ あれ何ジエットさんじこそ知り合いなの？

ジエット 知り合いも何も、ていうか、一緒に住んでるし、みたいな。

チー ジエット

カサ そうなの？ なにあんたチーの保護者(笑)？

ジエット 数えてみ、イー、アー、サン、スー、ワー、リウ

チー チー！

ジエット セ。ヌン・ソーン・サム・スイー・ハー・ホック

チー ジエット！

ジエット セ。

カサ おオオ。びっくり……、ってだから何ー？

ジエット 言ってんでしょ、あたし本業はキャラクターだって、
カサ なんの関係があるの？
ジエット チーは、あたしの「ムクロ」なの。
カサ え？

雨の音。フェードアウト。

ジエット この子は、四五六と付き合ってた頃のあたし。

チー 四五六。

ジエット 誰が？

チー (ん？ この人が)

カサ あ、俺の名前？ 四五六？ 俺、四五六か？ あ、俺、四五六か！ すっきりした！

チー (そつそつ)

ジエット なにいつてんの、勝手にそんな……え？ あんた……え？

カサ 違うかな？

ジエット 違うんじゃない。全然顔違うし。

カサ そうだよなあ。

ジエット でもあれが、

カサ そう俺キャラクターだから。

ジエット それ、元々の身体じゃないんだよね。

カサ うん。

ジエット やっぱそつなんだ。じゃあ……

カサ え、四五六って本当に死んだの？ 確認した？

ジエット 死体は見たけど、死に目にあつたわけじゃないし。ひよっとしたら

カサ そつ

ジエット 死ぬ前にあんたとチェンジしたの？ 死んだのは四五六じゃなくてその「ムクロ」でさ。

乗りうつつった四五六は今ここにいるアンタ……。つて違うかな？

カサ 忘れた。

ジエット 思い出してよそんな大事なこと。

カサ だいたいのは忘れてる。

ジエット でも「ピジョン君」のことは覚えてた。

カサ あれは

ジエット いや、「ピジョン君」じゃないけど。

カサ なんかの勘違いかもしれないし、……大事だからって思い出せるとは限らないんだよ。

ジエット じゃ、あんた誰を思い出して「ピジョン」来たの？

カサ 誰って、わかんないけど……。なんかいたんだよ、知り合いが一杯。いいじゃん、別に。

思う田をなくたつて「ピジョン」をなくたつて「ムクロ」をなくたつて「ムクロ」をなくたつて……

ジエット 段々と「ピジョン」をなくたつて「ムクロ」をなくたつて……

カサ やり直せるかもしれない？

ジエツト うん

カサ ダメだよ

ジエツト なんで？

カサ 全然何も思い出せないかもしれない。

ジエツト それなら段々新しく、覚えていけばいいんじゃない？

カサ ジエツトのこじを？

ジエツト あたしとチーのこじを。覚えていってくれればいいんじゃない？

カサ なんでそんなにこだわるの。

ジエツト 当たり前じゃんだって、ある日勝手にいなくなっというて何？ あんたがいなくなったからあたしだって「チー」の身体に戻らなかつたんだから。四五六と付き合ってた頃のあ

たしはそのまんま戻っていついついるんだから。

カサ じゃ聞くんじゃね、

ジエツト 何

カサ 四五六ってのが俺の「ムフロ」だったとしたら、今のこの身体は誰？

ジエツト 知らないよそんなの。

カサ 四五六がこの身体に入る前にもこの身体はこの世にあって、誰かと何か、大事な約束を

していたのかもしれない……。そう、この道に来たばっかの時にヘンな奴とあったんだ

けど、そいつは俺のこの顔に見覚えがあったみたいだったし……。わけのわからない奴

からメールきたりとかね。

チー あ……

ジエツト え？ ああ、降ってびちゃったね。濡るよ。

カサ うん

キュー 次のシャッフルが来るぞ。

雨と一緒にキューが来る。

キュー わけわかんない奴とかいわなごよ。

カサ え、ごめん誰？

キュー メールを送り主。

カサ そうなの？

キュー 返事くれないんだもんね。

カサ だってわけわかんなかったんだよ。

キュー トウゴウ・カンジ。って知ってる？

カサ え？ 誰それ？

キュー あたしの同僚。で、あんなその身体につけられた元々の名前。

カサ トウゴウ・カンジ。

キュー あたしをモデルにしてミニストローネの絵を描いてくれた、現代美術家さん、忘れてん

でしょ？

カサ 知らないよ、そんな奴

キュー でもそれあなたのことなんだよ。

ジエット 関係ないよね？ その「」の身体が昔トウロウって人のものだったとしてもね。今は四五六が入ってるわけでしょ？ だったらトウロウって人の記憶はどっか別のところにあるでしょ？ じゃ、これは四五六じゃん。

キュー 別にどこも行っていないからよ、トウロウってのは「」の身体に付けられた名前だから。ジエットさんだっけ？

ジエット あ？

キュー あんたも同じくらいやり直さないと期待してもダメだよ。「」は何度覚えんでも無駄。何度でも必ず忘れちゃうっていう男。それが「」の仕事だから。忘れて、また作り直すよ。

ジエット どうしてなの？

キュー そういつ風にも出来るの。あなたの埋め込んであるインプラントの裏表は「忘却と再生」。

場転 キュー・パイプ・カサの三人のシーン。

カサ してああ！ あー あー ジエット、「」なの？

ジエット どうして？

ガクシヤ 私が坐ってこのようにするのはいいか？

カサ アスファルト。

メニコン コンクリート。

ジエット リンリウム。

キュー つまりは人工の石。石の道。未知の石。未知の反対は既知。つまり、基地。

ケッタ ベース。

キュー 「」は基地であり、道である。街じゃない。

出口：ガクシヤの結論

ガクシヤ 「ミネストローネ」ってのは「場所」のことじゃない。それはある日突然に「発見」された、世界の点と点をつなぐ線、身体と身体をつなぐ糸、想像すればそこに現われる。なんだ「道」のことだ。

パイプ この道はー！

キュー この道は門。

パイプ この道は玄関。

キュー この道はドア。

パイプ この道は入口。

キユー この道は広場。
パイプ この道は自由。
キユー この道は砂漠
パイプ この道は炎
キユー この道は治外法権。
カサ この道は1人ぼっち。
パイプ この道はゴミ捨て場。
キユー この道は廃墟。
パイプ この道は宝の山。
カサ この道は1人ぼっち。
パイプ この道は家。
キユー この道はみんなの家。
パイプ この道はメロディー。
キユー この道はみんなのメロディー。
パイプ この道はみんなの幸せなメロディー。
カサ この道は1人ぼっち。
キユー この道は、この道。

パイプ やあ。
キユー やあ
カサ やあ。
キユー 見つけた。
パイプ 見つけた。
カサ つか、ごめん誰？

ガクシヤ それはある日突然に「発見」された、多分、3人の人間によって。
キユー 人間？
ガクシヤ といつていいのかわろつかはつきりとはわからない。ともあれ彼らは身体を持っていて、それぞれが裏表のついたインプラントをその体内に埋め込んだ。1人目の男には裏表になった「希望と絶望」が

パイプ 2人目の男には
ガクシヤ 裏表になった「忘却と再生」が、埋め込まれてる。
パイプ 裏表になった「忘却と再生」が、埋め込まれてる。
ガクシヤ そして3人目は女で、その女のインプラントには何が刻まれている？ 何が？
カサ つか、ごめん誰？

キユー あたしはね、キユーちゃん。クエスチオンのキユー。
カサ なんだそれ
キユー どうでもよくねえ？

ガクシヤ その女に埋め込まれたインプラントの裏表は「問いかけと記憶」

キユー クエストション

ガクシヤ 問いかけと。

キユー メモリー。

ガクシヤ 「記憶」が表裏になって刻み込まれてる。

ガクシヤ 「ミネストローネ」はその3人のおかげで動いている。彼らはこの「道」の管理人だ。

キユー かつてDJ四五六が選んだ曲をいまでもHSSsに乘せて流している、そういう女。記憶する絶望と、忘却する希望。それがこの道の原動力。

カサ 実際のところね、ちよくちよく自分がどこにいるんだか、わからなくなる時があるんだよね。いや、まあ、聞いてよ。誰だっただるでしょ？ ちよつと用事を思いついて立ち上がる。で、家の階段を3段も降りると、あれ？ ってなんだよ。あれ、なんで立ち上がったんだろって。1階に俺なんか用事あったんじゃなかったっけ？ あるはずの階段がなくなって次から次に踏み外していくようなあの感じ。

大丈夫。大丈夫だよ、まだまだ。俺の足取りは全然しっかりしてるぞ。次の一歩こそしっかり踏める。次の一歩こそしっかり踏める。ちゃんとそこに階段があるはずだっけ、いきかせるようにして降ろしていきんだ、けど……、止まらないんだな、そういう時は。しよつがないから階段昇って、もて坐ってた椅子にもつ一回腰掛ける。上手へすれば、椅子の下にはボタンがついて、坐った拍子になにをしなくちゃいけないかったのか、ピコーンと思いつ事ができるかもしれない。

だけど階段昇って2階に戻ってみるともつ、その見覚えがねえんだよ。冬の日の薄へ凍り張った水溜りみたいに、映像がパリパリになってくるんだな。視界が小さくなってフチのところがチリチリしてくんだ。あれ、こんな服どこで買ったんだ、ってのが始まったやつともつダメだね、あれ、どくだどってイスに坐って何してたんだろって？ あれ？ 俺の手か？ これ？ こんなインプラント入れた覚えねえな。ええ？ 本当に俺の手か？ っていつか、誰、こいつ？ 気持悪！

病院のシーン。

カサ 今俺は、踏み外し続けた階段を高速のエレベーターみたいなものってすこいスピードで駆け上がってる。そう、そう、そう、そう。わかって来たよ。DJ四五六は今この身体に入る前のこの俺で、この道を作ったのはこの身体の、こいつトウゴウ・カンジだ。

パイプ 元気だな。

カサ お前もな。……元気だ。お前もな、そつだお前も元気だな！

キユー お前もな。そつ！

カサ お前とお前と俺と3人で、一緒にHSSsが流れてるこの道を作ったんだっけな。

ジエット 思い出したの？

カサ おうジエット。「じをなにはいかりと想ひ出せばたじやはなごうしんへんごうはごきり何もか
も思い出した。

キユー だけどまた忘れる。

ガクシヤ 誰の、

ジエット 誰の

サホ 誰の

ガクシヤ ために？

キユー もう一回生まれ変わるために。

ガクシヤ 多分、3人は話し合ったんだと思う。

3人がいる。

ガクシヤ 何を話しあったのかはわからない。ただ、彼らは約束をして。それを身体に刻み付けた

キユー また会おう。命尽きるほど時間が過ぎたらまた会って、やり直そう。何度でも忘れて、

何度でも生き返って、何度でも絶望してまた、やり直そう。あたしはそれを覚えていね。

パイプ じゃあ、またね。

トウゴウ じゃあ、またね。

キユー じゃあ、またね。この道へ、

暗転。

【4】海辺の墓地

スーパ

スーパ：迷路で雨宿り：続

カサ

どこだよ雨宿り？

台詞の後、f-で雨音。

チーが雨宿りをしてる。壁沿いに立って目線は雨降る道。

カサ、ジェットの傍に足早に歩く。ジェットは今まで自分の居た場所をカサに譲る。

カサはごく当たり前のようにジェットの横に腰を降ろす。

ジェットが今まで居た場所より少しだけ外だから傘はたたまない。

カサ

雨降ってると思う思い出すんだけどさ……銀河鉄道999。哲郎がさ、あのちっぴりガンマンみたいなヤシいたじゃん？ あいつが言ってただけで、雨が好きなんつうのは金持ちの言いついでだって。一回くせ道と噂してたことあったら雨が好きなんて言えるわけないからって。そうなんだよなマッてさ。うん、すげえわかるんだよ。

何もじゃええ聞いて聞いってんぞジェット。

カサ

知りあいだよね？

ジェット

(イエス)

カサ

だよね。好きなの雨？

ジェット

(イエス)

カサ

そう。……俺も結構好きなんだよな雨。……困るけどね。寒いし濡れるし。

間。

カサ

ごめん名前、なんだっけ？

ジェット

……

カサ

喋れないんだっけ。ごめん。……謝る事もないか。いいんだよな、そんなことば。

チー

ジェット。

カサ

ジェット、ジェットね。

ジェット

(イエス)

カサ

よへいるんだっけの辺？

ジェット

(イエス)

カサ　　また会ったらよろしく。

カサ、手を差し出す。ジエット、それを答えて握り返す。

カサ　　じゃ俺の名前はなんでしょ？

ジエット　　(?)

カサ　　ひどいな忘れちゃった？

ジエット　　……。

チー、雨の中立っていき、二人の正面。

二人を見て笑う。

カサ　　なに笑ってたよ。

チー　　(笑ってません！)

カサ　　あ、そう、違うの。笑ってんじゃないんだ。

チー　　(うん)

カサ　　じゃあ……泣いてんの？

チー　　(イエス)

カサ　　笑ってんじゃねえかよ！

チー、笑う。カサ、立ち上がる。

ジエット泣いてる。

カサ　　あれ？ 泣いてるの？

ジエット　　笑ってたの。

カサ　　笑ってたのか。笑ってたよな。そういつ時もめるよ、うん。

ジエット　　帰ろう。

カサ　　え？

ジエット　　ウチに帰ろう。

カサ　　ミチ？

ジエット　　ウチ。おうちに帰ろう。

カサ　　え、それは俺のウチなの？

ジエット　　うん。あんたのウチ。

カサ　　じゃあ、帰ろうか。

ジエット　　うん。チー、行くよ。

そっく入キューが駆け込んできた。

キュー ひゃー。あーあ、じ。

傘を置く。

キュー よお

カサ おお……？

キュー みんなとは仲良くなった？

カサ いや、来たばかり。まだちょっとわかんないんだけど。

キュー 前からいたじゃん。ね。

ジェット うん。

カサ あ、そう、だったっけ。

キュー じゃそろそろ行くっか？

カサ あ、そう。え……っか、じゅめん誰？

キュー キューキュー。

カサ キュー。あ、じゅめん知り合いなんだよね？

キュー そりゃあね。

カサだけ笑う。キューは笑わない。

キュー立ち上がって去る。少し離れた所から、

カサ 元気だな。

キュー お前もな、っつ、え？

カサ いや、なんかいたくなったの。元気でなっつ。

キュー それ言う相手間違えてるよ。

カサ え？

キュー ほら、カサ君、ジェットとチーにお別れを言いな。

カサ お別れ？ なんで、お別れなの？

ジェット ねえ、チーも連れて行ってやっつ。

カサ え？

ジェット っついでっつよ？

キュー うーん。

ジェット 待っつっ。

カサ え？

ジェット そんなに遠い将来じゃない。きつと迎えにいっくよ。遠い将来じゃないから。うん。なんか、待っつて。そのころにはまた身体変ってるかもしれないけど、なんかいろいろこちやちやしたもん整理したらあたしもきつとそっちに行くからさ。だから、チーと一緒に待っつっ。

カサ っついでっつ？ っついで行くの俺？

キュー 行こう。ほら、見い。
カサ え、何を？
キュー 今日は月が
カサ 見る今日は月が！
キュー 元気でな！
カサ お前もな、二つ昇る夜だ。

ジェットだけが1人取り残される。

スープ：シャッフル

キュー・ケッタの語りの場が現在時におこす。

カサ この道は天井がすごく低いんだ。地上90センチの王国。地上90センチの天国。地上90センチの世界。世界。世界。世界。
キュー だけどさ、地を這いつくばらばちやうとまた別の世界にいつちやうんだよ。
カサ こっからいじ。
キュー 上でもなけりゃ下でもなご。
カサ こっからいじ。
ケッタ ジェッタ
カサ 地上30センチ以上90センチ以下の90センチ。
キュー の。
カサ 王国。動けなくなったやつが、死ぬまでの間にいじている。世界中いじても地上30センチ以上90センチ以下王国は広がってぬ。
ジェット この国の領土は無量大だ。ハロ、ハロ、
キュー 言葉とは身体のことだ。
ジェット この言葉は誰かのためにもぬ。
キュー この言葉は誰かのためにもぬ。
ジェット つまら、
キュー この身体も誰かのためにある。誰の、
ジェット 誰の
キュー 誰のためにも？
ジェット 誰のための身体なのかはわからない。
ケッタ けれどこの身体はあらかじめ誰かに差して出されたものだ。この言葉があらかじめ誰かに差し出されたものであったらどうして。
キュー あんたじ。

場転。ケッタとキューの場面へ。

ケッタ 俺にか……。

キュー そうあんだに。

ケッタ ゆっくり聞いてみたけどわかるようなわかんないような話だな。

キュー まあ、半分ぐらいわかって。新しいミネストローネのリーダーさん。

ケッタ そんなんじゃねえよ。うん。そんなんじゃねえけど、なんで俺なの？

キュー 知らない。流れるに？

ケッタ ……じゃ、しょうがねえか。

キュー DJ四五六の御指名だ。

ケッタ 産毛さんに申し訳ないな。

キュー 向いてないよ、彼には。

ケッタ 何で？

キュー みんなに信用されないんだ。ほら、君みたいにみんなを利用しようとしなから。

ケッタ だって……そう？ それが俺のやりかたなんだからしょうがないだろ。それじゃまた

キュー っつらっつらっ。

そこにハッチがやっつゝる。

キュー よろしくね。これからはあんたがもう1人の管理人なんだから。

ハッチ 何すねばいいの？

キュー 別に。

ハッチ 別にっ。

キュー うんぱりしても死なずに持っていて。希望と絶望のインプリント。

ハッチ うん

キュー また会おうね。(ハッチとハッチのお腹に向かって喋りかける)

そこに産毛がやっつゝる。場転。

産毛 行っちゃったね。

ジエット うん。

産毛 おまえもいかないでよかったの？ 一緒に。

ジエット うん。

産毛 なんぞ？

ジエット 別に。

産毛 ……本当によかったの？

ジエット なんて行って欲しかった(笑)？

産毛 いや、そつらつわげじゃねえはじ。
ジエット あんたんとこ居ちや悪いの？
産毛 ……あーアジビ？
ジエット マジだね。
産毛 じゃ、飯でも行くか。
ジエット うん

場転。

ヤブ 俺も医者はもつやめにしようかな。
メニコン ええ、やめちゃうの？
ヤブ わかんねえけど、ガクシヤにでもなるうかな。
メニコン ん？ ガクシヤはどつしたの？
ヤブ あいつはリーマンに戻った。
メニコン ななび？
ヤブ あれ書いたらにににの理由もねえだつてね。うん。そねびいんじゃねえかな。
メニコン じゃあたしは？
ヤブ 運び屋でもやるか？
メニコン ななび？
ヤブ じつ一個つしずねいへかららね。運び屋、医者、ガクシヤつて、

甘栗はヒカリの骨を持ってヤブ医者のところに行く。

甘栗 ねえ、インプリントって出来るの？
ヤブ おう。おまじよ。
甘栗 じゃ、じゃ埋めいじよ。
メニコン 骨？
甘栗 骨。
ヤブ いろいろいじよ、いろいろ形にする。なにこれ、レットかなんかの骨？
甘栗 ま、そんなやつなものよ。
メニコン 人間？
甘栗 早くやっつよ。
ヤブ いろいろいじよ。形。
甘栗 形はうーん
ヤブ せつかく骨だからなー。あのほら、漫画みてえないろいろ骨の形を入れてあげようか？
ワフワフワ
甘栗 ハート型でもいじよ？
ヤブ しかじかよ。

甘栗 ダメ？ ハート型

ヤブ いいけど、年にあわねえんじゃねえの。

甘栗 いいからハート型にしてよ。ああ、もう絶対ハート型。

ヤブ わかったよ、うるせえな。じゃ来いよ入れてやるからさ

甘栗 ……ねえ痛いの？

ヤブ 特別に痛くしてやるよ

甘栗 やめよ。

産毛

甘栗のばあさんはその数年後に政治家の車に引かれて死んだ。あっけなく。金を命の単位にするじじいに対処するのじじいプリカードを掲げてもやあぎやあ騒いでる最中のことだ。俺はシベタに坐りながらそれをすべそばで見た。仰向けになったばあさんは頭が30センチより下にいってしまって、俺はかわいそうだったから、壁にもたせかけてやって、この30センチ以上90センチ以下王国に留まらせてやりたかったんだけど、屋敷しすぎたころ、猫とカラスがやってきて、俺がばあさんにやった饑別のマックの袋を取り合いました。その拍子にはあさんの身体は倒れ、涙が流れてそれが水溜りになった。つなぎ服を着た役所の連中がばあさんを運ぶ時、ばあさんの身体は池に浮かんでるハスの花になってた。

小さな水の音が大きくなって、海の声。

スープ：驟雨

雨。海の声。チー、カサ、キューが居る。カサは機嫌がすくぶる悪い。

カサ どこだ今度は。

キュー お墓だよ。

カサ お墓？ 何この音？

キュー 波の音。波ってわかる？

カサ 何だっけ？ なんかなつかしい音だね。

キュー でっかいスープ鍋で、スープがゆれる音。ザザーザザーで。

カサ あ、そうか海だったのか。

キュー そう海辺のお墓。

カサ なんでこんな音に聞こえるの？

キュー 記憶もないし身体もない。あげくに親も兄弟もない。そういうじじいに来たの。

カサ 大丈夫だよ。大丈夫だよ俺は。何も無いってことばらいつすわかってた。なあ。俺

達騙されてたんじゃねえの？

キュー どこだろじじい？

カサ 最初っからそういう風になってたんだよ。何も無い。なんにも無い。この沢山の墓標と

キユー も俺はなんの関係もないところから生まれてきた。そうなんですよ？
首を振る。

カサ 違うの？ 何の関係もない。何の関係もないよ！ なんとかいったらどうなんだ！
キユー ……。

カサ なんだよ、その目は。なんなんだよ、そんな顔すんなよ、俺を見るなよチー。
キユー キユーだよ。キユー。

キユー、困っている。

カサ チー、こんな潮風に吹かれてないで、家に帰ってあったかいスープでも飲もう。こんなところに居て、何度でも降りはじめるとこんな雨を浴び続けてたら絶対風邪引いちゃうよ、そうでしょう？

キユー、無言。

カサ チー。俺はいつやっただんたんとバクッてきてかなりイマイチなってることにも大分なれては来たんだけどさ、たまーにね。無性に怖くなるときがあんだよ。この地上に生きているほかの人間とか動物とか、なんやかんやと俺だけなんか全く関係ないところに生れ落ちちゃったんじゃないかと思ってさ。チー。なんとか言ってくれ。俺は関係あるのかな？ この雨とか、この空とか、この海とか、チー、おまえとか。チー、おまえとかと、俺は関係あるのかな？ チー、何度でも聞いけど答えてくれよ。おまえと、俺はなんか関係あるのかな？

キユー ……うなづい。

カサ じゃあ最初っからそういえよー

キユー 笑っている。

カサも少し笑う。

音楽。

カサ 俺たちは誰にも騙されなにかいない。生れてから、死ぬまでだ。そうなんだ。海の上にも。いつか海の上にもこの音楽が流れるようになる。そうなるように俺がする。DJ 四五六は俺の昔で、昔の流した音楽が今も地上30センチメートルから、90センチの高さでハイパー・ソニック・サウンドに乗って流れている。舟に乗ってのんびりしてる奴にこの音楽は聞えない。海面スレスレをアップアップしながら泳いでるような連中にも聞えない。飛び魚とかね。この音楽を聞けるのは飛び魚とか、そういうのだ。シャチャイルカみたいな海面からほんの少しだけジャンプしたところでのこの音楽が聞けるだろ。そわとちよひおんな言めで俺と俺の友だちは今日もジバタにしゃがみ込んでつまねー顔しながらつまねー酒を飲ませる。そわとちよひおんな言めで

うやく立ち上がった赤ん坊が手すりに捕まりながらこの音楽を聞くんだよ。それとちよ
うどおんなじ高さで、今日も這いつくばって床掃除する家政婦がこの音楽を聞くんだよ。
それとちよどおんなじ高さで！ それとちよどおんなじ高さで……地上30セン
チメートル以上90センチ以下のこの道の領土が広がってへ。鉄条網だとか、検問所だ
とか、国境線だとか、そんなものを越えてはてしなく広がってへ。この国の領土は無
限大だ！ チー、おかしいか？

間。キュー、ゆっくりと傘を差す。

キュー 濡れるよ

音i n 雨音。カサも傘を差す。

キュー、笑っている。

カサ 何笑っているんだよ。

キュー (首を横に振る)。

カサ 笑っているんじゃないの。

キュー、笑っている。

カサ キュー、泣いているの？

キュー うなづいへ

キュー、声を立てて笑う。

カサ 笑ってんじゃないかねえか。

キュー、さらに笑っている。

カサ そうだよなー！ そういつ時も、あるよなー！

二人同時に手に持っていた傘を投げずる。

音i n コ。

キュー ねえトウゴウ。

カサ トウゴウ？

キュー あんたがあたしのいよをむかひらむかつかつてへるのかなとてもしよじだして
いんだよねえ。あたしのいよをむかひらむかつかつてへる。あたしだつていよかまた
トウゴウのいよだ。

